

# 三重県競技力向上対策本部

## 第4回本部会議



平成28年4月18日（月）

ホテルグリーンパーク津



# 三重県競技力向上対策本部 第4回本部会議 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部 第4回本部会議次第	P	3
○ 報告事項		
（報告事項1）役員及び委員等の変更	P	7
（報告事項2）三重県競技力向上対策本部会議等の推進経過	P	9
（報告事項3）三重県競技力向上対策本部 第5回競技力向上対策委員会の概要	P	11
（報告事項4）第70回国民体育大会総合成績	P	13
（報告事項5）三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要	P	15
（報告事項6）三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会の概要	P	21
（報告事項7）三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項	P	23
（報告事項8）三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更	P	61
○ 審議事項		
（第1号議案）三重県競技力向上対策基本方針における各期間の目標と取組（案）	P	65
（第2号議案）平成27年度事業報告（案）	P	67
（第3号議案）平成27年度収支決算（案）	P	71
（第4号議案）平成28年度事業計画（案）	P	73
（第5号議案）平成28年度収支予算（案）	P	75
○ その他		
（情報共有事項1）第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過 （平成28年3月31日現在）	P	79
（情報共有事項2）平成30年度全国高等学校総合体育大会 準備状況 （平成28年3月28日現在）	P	87
○ 講演		
・講師プロフィール	P	91
○ 参考資料（別冊）		
・三重県競技力向上対策本部規約	P	3
・三重県競技力向上対策本部事務局規定	P	7
・三重県競技力向上対策本部財務会計規定	P	11
・三重県競技力向上対策本部 本部委員名簿	P	19
・三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会名簿	P	20



# 三重県競技力向上対策本部 第4回本部会議次第

平成28年4月18日(月)  
ホテルグリーンパーク津  
6階 藤・萩の間

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

- (報告事項1) 役員及び委員等の変更
- (報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の推進経過
- (報告事項3) 三重県競技力向上対策本部 第5回競技力向上対策委員会の概要
- (報告事項4) 第70回国民体育大会総合成績
- (報告事項5) 三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要
- (報告事項6) 三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会の概要
- (報告事項7) 三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項
- (報告事項8) 三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更

## 4 審議事項

- (第1号議案) 三重県競技力向上対策基本方針における各期間の目標と取組(案)
- (第2号議案) 平成27年度事業報告(案)
- (第3号議案) 平成27年度収支決算(案)
- (第4号議案) 平成28年度事業計画(案)
- (第5号議案) 平成28年度収支予算(案)

## 5 その他

- (情報共有事項1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過  
(平成28年3月31日現在)
- (情報共有事項2) 平成30年度全国高等学校総合体育大会 準備状況  
(平成28年3月28日現在)

## 6 講 演

テーマ 女性が輝く社会の実現に向けて  
～女子サッカーを通じた地域貢献～  
講 師 サッカー元日本代表、サッカー解説者  
高田短期大学女子サッカー部監督  
みえ高田FC監督  
宮本 ともみ 様

## 7 閉 会



# 報 告 事 項





報告事項 1

役員及び委員等の変更

選出区分	所属機関・団体・役職名	旧	新
県議会関係	三重県議会議長	永田 正巳	中村 進一
市町関係	三重県市長会会長	前葉 泰幸	大口 秀和



## 三重県競技力向上対策本部 会議等の推進経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会において、平成33年第76回国民体育大会の本県開催が内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」(11月19日)、「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」(12月13日)、「第1回企業等連絡調整専門委員会」(12月16日)を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」(11月13日)、「第2回企業等連絡調整専門委員会」「第2回成年選手強化専門委員会」(11月19日)を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。
9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」(11月4日)、「第3回企業等連絡調整専門委員会」(11月16日)、「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」(11月25日)を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。



## 三重県競技力向上対策本部 対策委員会の概要 (第5回競技力向上対策委員会)

平成27年9月4日

### 1 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画について

#### (1) 基本方針における目標及び計画の見直しについて

##### ①競技スポーツを取り巻く環境の変化への対応

- ・東京オリンピック決定後、国体の種目や人数の変更があり、協会としても対応に苦慮している。中央競技団体からの情報を収集して、県対策本部の対応をすばやくする必要がある。

##### ②本県競技力の現状への対応

- ・目標順位を達成するために必要な、予算、人員を確保してほしい。今年、もし目標を達成できなかったときには、課題をさらに洗い出し、目標達成のために取組を強く進めてほしい。

#### (2) 基盤体制づくり期の「取組の柱」における成果と課題について

- ・高校強化指定事業が少年選手の中心的な強化事業として、入賞件数や国体の得点といった数字だけでなく、意識や活動内容のレベルが向上しており、効果はあったと考えられる。

### 2 競技力向上の取組の検証について

#### (1) 成年選手の競技得点の低下に対応する成年選手の育成・強化の取組について

##### ①大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業

- ・現在、単年度での指定を行っているが、平成33年を見据えるのであれば長期的な指定も必要ではないか。
- ・強化指定されているチームの選手としては気が引き締まるが、県外出身の選手が多いチームになるとあまりその意識が醸成されていない部分もある。チームの努力が必要である。また、移籍も多いのが実態のため、長く在籍していただけるような環境があればよい。

##### ②トップアスリート就職支援事業

- ・(就職支援担当より報告) 現在、県内に本社を置く企業等を中心に今までに約40社を回っている。50年に一度の国体のために前向きに対応していただいている企業もあるものの、職種等のハードルもあることを感じている。
- ・(事務局より報告) どのタイミングで何名のアスリートの就職支援が必要なのかというヒアリングを全競技団体に行った。今後、全体人数等を把握して詳細な計画を再調整したい。
- ・就職支援において企業が必要な選手と、競技団体が必要な選手との相違がある可能性もあるため調整する必要がある。
- ・県外に本社があると調整が必要になるが、国体に貢献できるようにするためにはどのような対応ができるか検討していきたい。

## (2) 選手の育成のための指導者の確保について

### ①スポーツ指導員配置事業

- ・セーリングでは1名の配置をしているが、トップ選手に直接教わる機会が高校生にあることは非常に効果的である、今後少年の競技力も向上していく傾向にあると考える。他競技でも有効ではないか。

### ②特別コーチ配置事業

- ・指導者の確保については、教育委員会が教員採用試験の中でスポーツ特別選考の種目を特化して指導者を確保しており、すでに成果が上がっている競技もある。
- ・中学校の指導者の中では国体の意識が低くオール三重の意識を持つことが難しい。小、中、高、クラブチームの指導者の連携をうまくとることが重要である。

## (3) 女性アスリートのサポートについて

### ①女性スポーツ指導者研修会

- ・中学校現場でも女子選手の指導は非常に難しいと感じる。女性の指導者も少ない状況であり、知識がないために競技力が向上しないという課題があると感じる。

### ②女性アスリートの相談窓口設置

- ・周知をもっとするべきであり、活用をすすめる必要があると感じる。
- ・強化指定運動部やチームの選手・指導者・保護者だけでなく、県全体の運動部にまで範囲を広げて、市町等と連携した周知をしてはどうか。

### ③女子選手の発掘・育成

- ・「タレント発掘」事業は結果が出るまでに時間がかかるため、相当の覚悟がいる。JSCとも連携をしてしっかりすすめるのであれば賛成する。平成34年以降の遺産として残していくものであると思う。

# 第70回国民体育大会総合成績

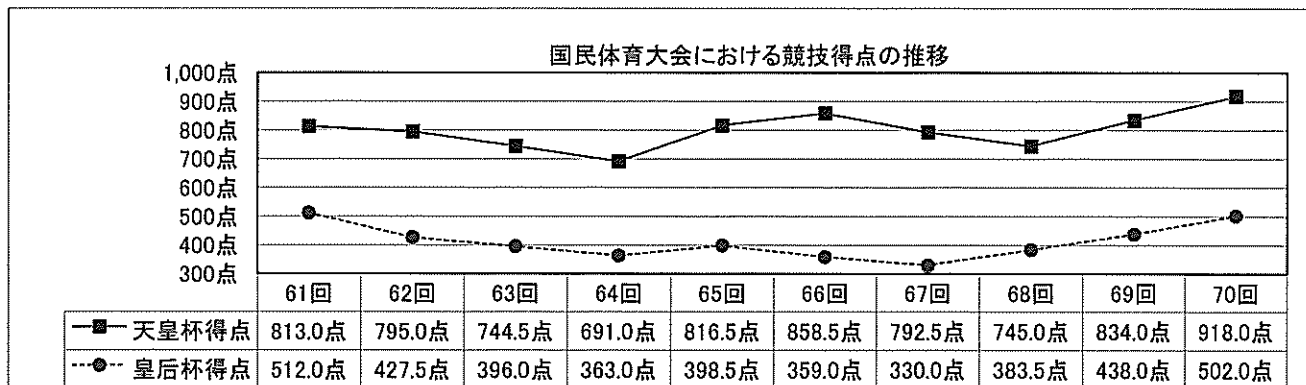
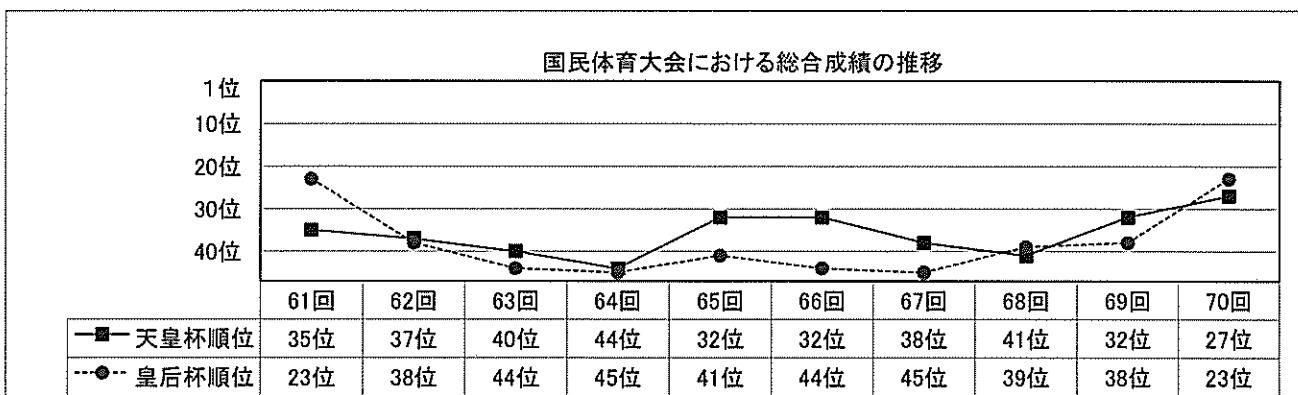
報告事項4

男女総合成績競技別一覧

競技順位	競技名	競技得点	参加点	合計
2	サッカー	64.0	10.0	74.0
4	ウエイトリフティング	66.0	10.0	76.0
7	ソフトテニス	35.0	10.0	45.0
8	レスリング	32.5	10.0	42.5
11	テニス	18.0	10.0	28.0
12	馬術	28.0	10.0	38.0
12	アーチェリー	15.0	10.0	25.0
13	体操	15.0	10.0	25.0
13	柔道	12.5	10.0	22.5
14	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
14	ボウリング	25.0	10.0	35.0
14	自転車競技	14.0	10.0	24.0
14	バスケットボール	12.5	10.0	22.5
15	ゴルフ	6.0	10.0	16.0
17	陸上競技	46.0	10.0	56.0
17	水泳	36.0	10.0	46.0
18	セーリング	10.0	10.0	20.0
18	空手道	7.0	10.0	17.0
19	弓道	24.0	10.0	34.0
20	フェンシング	9.0	10.0	19.0
21	ボクシング	12.5	10.0	22.5
27	ボート	5.0	10.0	15.0
小計	22競技	518.0	220.0	738.0
	他 18 競技		180.0	180.0
	40競技	518.0	400.0	918.0

女子総合成績競技別一覧

競技順位	競技名	競技得点	参加点	合計
1	サッカー	64.0	10.0	74.0
4	ソフトテニス	35.0	10.0	45.0
4	馬術	16.0	10.0	26.0
8	アーチェリー	15.0	10.0	25.0
9	弓道	24.0	10.0	34.0
9	ハンドボール	12.5	10.0	22.5
9	バスケットボール	12.5	10.0	22.5
12	テニス	6.0	10.0	16.0
16	セーリング	4.0	10.0	14.0
17	ボウリング	4.0	10.0	14.0
20	陸上競技	15.0	10.0	25.0
27	水泳	4.0	10.0	14.0
小計	12競技	212.0	120.0	332.0
	他 17 競技		170.0	170.0
	29競技	212.0	290.0	502.0



## 平成27年度 主な全国大会の結果

### 1 全国高等学校総合体育大会

- (1) 入賞件数 (46件)  
 (2) 優勝一覧

○団体

競技種目	性別	種別	学校名
ウエイトリフティング	男子	学校対抗	四日市工業高校

○個人

競技種目	性別	種別	学校名	氏名
陸上競技	男子	ハンマー投	久居高校	村木 亮太
体操 (新体操)	男子	個人総合	高田高校	堀 孝輔
	男子	スティック	高田高校	堀 孝輔
ウエイトリフティング	男子	56kg級クリーン&ジャーク	四日市工業高校	古屋敷 拓也
	男子	62kg級トータル	四日市工業高校	小野 平伍
	男子	62kg級クリーン&ジャーク	四日市工業高校	小野 平伍
	男子	85kg級トータル	亀山高校	柳川 友章
	男子	85kg級スナッチ	亀山高校	柳川 友章
	男子	+105kg級トータル	四日市工業高校	川村 正輝
	男子	+105kg級クリーン&ジャーク	四日市工業高校	川村 正輝
	男子	+105kg級スナッチ	四日市工業高校	川村 正輝
レスリング	男子	60kg級	いなべ総合学園高校	成國 大志

### 2 全国中学校体育大会

- (1) 入賞件数 (9件)

### 3 国民体育大会

- (1) 入賞件数 (62件)  
 (2) 優勝一覧

○団体

競技種目	性別	種別	学校・チーム名
サッカー	女子		伊賀FCくノ一
弓道	成年女子	遠的	全三重

○個人

競技種目	性別	種別	所属名	氏名
陸上競技	成年男子	走高跳	AGF鈴鹿 (株)	衛藤 昂
	少年男子A	ハンマー投	久居高校	村木 亮太
水泳 (競泳)	少年男子B	100mバタフライ	三重高校	阪本 祐也
ウエイトリフティング	成年男子	62kg級スナッチ	四日市工業高校	坂 典泰
		62kg級ジャーク		
	少年男子	62kg級クリーン&ジャーク	四日市工業高校	小野 平伍
	少年男子	85kg級スナッチ	亀山高校	柳川 友章
	少年男子	+105kg級スナッチ +105kg級クリーン&ジャーク	四日市工業高校	川村 正輝
馬術	成年女子	馬場馬術 自由演技馬場馬術	名張乗馬クラブ	奥西 真弓

### 4 その他

全国高等学校選抜大会優勝一覧

競技種目	性別	種別	学校名	氏名
体操 (新体操)	男子	個人総合	高田高校	堀 孝輔
		個人スティック		
		個人リング		
		個人ロープ		
		個人クラブ		
弓道	男子	個人	尾鷲高校	奥野 瞬
ウエイトリフティング	女子	63kg級	亀山高校	石井 未来
	男子	77kg級	亀山高校	柳川 友章
	男子	+105kg級	四日市工業高校	横山 太偉雅

全日本実業団対抗女子駅伝競走大会優勝 (3連覇)

競技種目	性別	種別	学校・チーム名
陸上競技 (駅伝)	女子	団体	デンソー女子陸上長距離部



## 三重県競技力向上対策本部 専門委員会の概要

## (第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会)

平成27年11月25日

- 1 入賞の可能性が高い競技や入賞レベルに達してきている競技が、確実に入賞できるようにするための取組について
  - ・三重県の子はおおらかな子が多い。何が何でも勝つという気持ちが少ないように感じる。
  - ・県外との練習試合で他県チームに勝ちきれない状況があり、強化指定事業を活用してシンパシー・ユニオンによるメンタル的な強化にも取り組んだ。
  - ・すべての競技において、小学校の高学年から県外の強い選手と対戦し、精神的な面を鍛えることが必要ではないか。
  - ・高等学校運動部強化指定の成果として、各専門部で強化の流れができ、選手の意識や責任感も向上している。しかし、指導者の戦略マネジメントや実践経験をさらに積む必要がある。
  - ・強化指定により練習試合や合宿などを行えたが、試合前に練習場所が確保できないなどの課題もあった。練習環境の整備も必要である。
  
- 2 強化指定運動部で成果が認められない運動部を、2～3年後に入賞レベルに引き上げるために必要な支援のあり方について
  - ・強化指定運動部でも、結果を残している高校は、いい選手が集まってきているが、結果が残せていない高校では選手獲得に苦勞している。結果を残すために‘人’が大きなキーワードである。
  - ・指導者が選手に刺激を与え、選手の「スイッチ」が押せるように指導者の育成を考える必要がある。
  - ・セーリングでは、スポーツ指導員がジュニア選手や指導者によい影響を与えていた。より計画的に活用できるよう、体協・県・連盟で協議する必要がある。
  - ・日本一になった人の話を身近に聞ける機会があるとよい。絶えず日本一は当然だと監督自身が思えるよう、まず監督の意識を変える必要がある。
  - ・強化をするうえである程度の選手数が必要であり、トップ選手がケガをした時にも、それを埋めるだけの選手が必要である。
  - ・トップ選手による指導は、少なくとも1年間くらいの継続的な指導が必要であり、長いスパンで考えたい。
  
- 3 小・中・高・ジュニアクラブの連携のあり方や、チームみえジュニア等の一貫した育成強化体制のあり方について
  - ・中体連では、中学生選手の強化について、中学校強化指定とジュニアクラブ強化指定の棲み分け考えていきたい。
  - ・ジュニア選手の県外流出は、日本のトップ選手になる夢を持ち、その競技でのトップ選手を多く輩出している県外の有力校へ行かせようとする保護者の考え方によるものでもある。

- ・オリンピックに出場するようなトップ選手が指導することによって、日頃の指導にちょっとした変化が生じ、そのような変化が強化するうえで即効性が期待できる。大いに拡充する必要がある。
- ・テニスでは特別コーチを招へいし、選手・指導者を集めて話をしてもらった。世界で活躍する選手を見ることで指導者にとってもいい刺激になり、改めて必要性を感じた。年に4～5回来てもらうことで、指導者の意識も向上すると感じた。
- ・3年前からテニスのステップアップを真似て、ハンドボールもジュニア選手強化を始めた。月に2回、小学5・6年生と中学校の各学年20名程度に絞って、強化指定校で合同練習会に取り組んでいる。
- ・国体のバスケットボールでは、少年種別がU-16になるので、H30インターハイ強化事業の中高連携での活動は有効である。このような事業を何らかの形で継続してほしい。
- ・運動能力に長けている子でスポーツをやっていない子をセレクションし、競技を割り振りするようなタレント発掘をしてはどうか。

#### 4 女子選手の育成・強化を図るための選手や指導者への支援のあり方について

- ・男性の指導者にとって、身体的な面や心理的な面などわからない部分がある。女性の指導者の協力が得られるよう、教員配置である程度配慮してもらえるとありがたい。
- ・女性の指導者がスタッフとして入ったことで、選手への指示や状況把握がしやすくなった。強化指定校にコーチ（講師）を1人つけられるような制度があるとよい。
- ・女性アスリートサポート事業において、相談窓口というよりは、産婦人科の先生を直接派遣していただき、指導者や保護者、選手に直接話していただく制度にしてはどうか。
- ・強化指定校へカウンセラーを派遣するなど、心のケアも必要である。
- ・女性指導者が少ない現状にある。セーリングでは、子どもを育てるお母さん選手のために、国体でチルドレンルームの設置などサポート体制を作っている。
- ・男性の指導者が技術指導に加え、精神的な面まで指導するのは難しい。女性の指導者がいることで、女子選手のあこがれともなる。

## 三重県競技力向上対策本部 専門委員会概要 (第3回成年選手強化専門委員会)

平成27年11月4日

### 1 短期的な成年選手強化の育成・強化の取組について

- ・目標の明確化と事務局体制の充実により、競技団体の意識醸成が図られた。
- ・各競技団体が国体に向けて、全種別を一同に集めた練習会を行うなど、種別を超えたチームワークの形成を図り、「チームみえ」としての意識をさらに高める必要がある。
- ・「特別コーチ派遣事業」はテクニカルコーチに偏っている感がある。今後、接戦を制するため、高いレベルでの指導実績を有する指導者をアドバイザーとし、特別コーチや総監督制を導入するなど指導者をサポートする方法もある。
- ・スポーツ指導員であるトップレベルの選手は国体に貢献するだけでなく、少年の指導面においても効果を現している。一方で、得点できなかった競技もあった。今後はスポーツ指導員の活動を支えるだけでなく、活動の内容について管理していく必要がある。
- ・「スポーツ指導員配置事業」は国体での得点獲得に直結する部分がある。単なる拡充ではなく、「2～4人の競技」の団体種目において、中心選手のパートナー的存在の選手があと一人いれば、得点の可能性が格段に高まる競技などに対して、戦略的に拡充するよう取り組む必要がある。
- ・4年後に新種目となる予定のトランポリン種目など将来を見据えた選手の確保や育成を行いたい。このような競技はスポーツ指導員の対象にはならないか考えてほしい。

### 2 中・長期的な成年選手の育成・強化について

- ・「大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業」において、強化費の配分だけでなく、担当者が密接に関わっていただいたことも効果があった。指定チームが責任を持って取り組めるようなバランスの取れた強化費の配分が必要である。
- ・5年間で一度も入賞がない競技については強化策をコーディネートする人材の育成が必要である。
- ・本大会に出場できなかった競技団体の国体に対する意識が薄れないよう、代表者が視察に行き、中・長期的な強化策をイメージすることも必要である。そのうえで、強化策について改めて考える必要がある。

- ・「トップ選手強化事業」においては、オリンピックで活躍するような選手を育成することを念頭におくなど本当の意味で強化の柱となる事業にしていく必要がある。
- ・県外で活躍する三重県出身のトップアスリートや強化指定チームに在籍するトップアスリートに対する支援体制や現在トップジュニアで指定されている選手の高校卒業後の活動をフォローするような支援体制作りが必要である。
- ・「トップアスリート就職支援事業」において実際に選手をスカウトするにあたって、対象となる企業の状況やそれに伴う練習環境など選手に対して提示できるよう具体的な情報が欲しい。また、即戦力だけでなく、平成33年に向けて見込みのある選手の雇用についても考えてほしい。

### 3 女子新種目への対応について

- ・女子選手の強化にあたっては、まずは環境を整えることが何よりも重要である。女子選手がスポーツをやるなら三重県だと思える環境整備が急務であり、県外流出の歯止めにもなればよい。
- ・国体を契機にして何かを残していくためにも女子に特化したタレント発掘に取り組んでいくことは女子のスポーツ振興にもつながり、本県の強みになっていくと考えられる。またタレント発掘事業においては新種目に向いている選手を上手く導いていく必要がある。

## 三重県競技力向上対策本部 専門委員会の概要

## (第3回企業等連絡調整専門委員会)

平成27年11月16日

## トップアスリート就職支援事業の計画的な実施について

## (1) 今年度の取組を受けての企業・事業所への働きかけについて

- ・ 県内に本社があり、従業者数が50名以上いる企業は1,000社ほどあるため、それらの企業から就職支援の依頼を行っていく必要がある。そのためには、まずは商工会議所連合会の常議員会において事業説明等をしてみてはどうか。
- ・ 企業は、選手採用に伴うメリットがほしいため、県のHPやインタビュー時に使用されるバックボード等で積極的かつ継続的に採用企業の宣伝や広報に努め、企業がインセンティブを感じることができるよう取組を行う必要がある。
- ・ 既にスポーツ選手を採用している企業では、選手採用や育成・強化に係る仕組みができてきているが、スポーツ選手を採用したことがない企業では、それらの仕組みができていないため、理解を得るまでには時間がかかる。事務局は、その点についても企業に誠意をもって説明したうえで、就職支援の依頼を行っていく必要がある。
- ・ 企業が企業スポーツに求めるものは、①社員の一体感の醸成、②社会貢献、③ブランド力の向上、である。企業が前述の①を強く求めるのであれば、社業や競技活動への取組が他の社員に見えるところで行われないと意味がないため、スポンサーではなく、社員選手としての採用を基本として行うべきである。
- ・ 本事業を成功させるためには、国民体育大会をゴールとせず、一つのきっかけとしてスポーツ推進を図っていくというスタンスを企業側にも伝えたいと、実施する必要がある。そのためには、国民体育大会に向けて職員を臨時的に雇用するのではなく、計画的に正規職員として採用するとともに、採用した選手には適切な支援を行う等、総合的な働きかけが必要である。
- ・ 企業側への働きかけも重要であるが、大学をうまく巻き込んで成年選手の競技力向上を図っていく必要はある。
- ・ 県外に本社がある企業についても、関係者等のツテを使って就職支援の依頼を行うことで、可能性は広がるため、積極的に行っていく必要がある。

## (2) 来年度以降におけるマッチングについて

- ・ スポーツ選手と企業とのマッチングを行うにあたっては、競技団体や事務局がしっかりと人物評価を行い、双方にとっていい人材を見つけることが必要である。
- ・ 企業としては生産性を高め、競争力に打ち勝たないと生き残れない時代であるため、採用された選手は社業をしっかりと行うことはもちろんであるが、社員の一体感の醸成や明るく元気な職場づくりといった波及効果も期待しているため、そのような人物を推薦していく必要がある。
- ・ マッチングを行うにあたっては、企業活動を発展させるとともに、成年選手の競技力向上を担うという両面を兼ね備えた人物を競技団体から推薦をしてもらう必要がある。その点については、事務局がしっかりと競技団体に伝える必要がある。
- ・ 事務局は、マッチングを行う前に選手や企業が望むことや期待することについての調

査を行い、双方の思いを汲み取っておく必要がある。

- ・ マッチングも重要であるが、採用後に選手や企業に対してフォローを入れることも大切である。フォローをしっかりと行うことができれば、両者の不平や不満を抑えることができるため、採用後のフォローはこまめに行う必要がある。
- ・ 国民体育大会の開催を平成29年に控えている愛媛県では、伊予銀行がテニス競技の選手を正社員として7名、プロ契約選手として1名採用した。正社員の勤務形態は、週三日は午前中の勤務とする等、競技活動に一定の理解を示している。本県としても、どの企業にどの競技を推薦すれば、競技得点につながりやすいのか等、戦略的にマッチングを行う必要がある。
- ・ 社会人としての教育が必要とされる選手については、マッチングを行うまでに競技団体に依頼して指導を行ってもらおう等、対策をとる必要がある。

---

協議事項の前段で、県内の企業チーム及びクラブチームの状況報告が下記のとおり、ありました。

#### 株式会社デンソー

株式会社デンソーでは、西尾製作所に女子バレーボール部、本社に女子バスケットボール部、安城製作所に女子ソフトボール部、大安製作所に女子陸上長距離部の強化指定部を、基礎研究所に女子ボート部の準強化指定部を有している。

強化指定部は、セミプロのような勤務形態であり、バレーボール部やバスケットボール部、陸上長距離部は週に1～2日程度の午前しか勤務を課していないが、ソフトボール部は業界の慣習もあり、毎日半日の勤務を課している。そのため、ソフトボール部は正規採用が基本となるが、それ以外の等は嘱託職員の比率は高い。

配属先については、一定の配慮をしており、陸上長距離部は全員、事務職に就けている。また、社員選手の人事評価は、すべて標準パターンで評価している。

また、一般職の選手であっても、成績を伸ばしたり、全国的にも活躍するような選手については、夜勤職場を避けたり、残業が少ない職場への配転をしたりしている。

#### 三重バイオレットアイリス

三重バイオレットアイリスでは、鈴鹿市の企業や事業所に選手を採用していただきながら、クラブチームとして活動している。

選手には、基本的に8時間勤務を課しており、正規採用か嘱託採用かは選手と協議を行ったうえで決めている。

企業には、残業を課さないこと、大会や遠征等の関係で年間に15～20日間は離職できることを理解していただいたうえで、採用していただいている。給料としては、高卒者で16万円、大卒者で19万円程度である。

私どものチームにもナショナルチームの選手がいるが、オリンピック出場のための代表活動が盛んなため、それらの選手については、ほとんど勤務できていない状況である。

## 三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会の概要

平成28年3月24日

### 1 育成期における競技力向上の取組について

#### (1) ターゲットエイジの育成・強化の取組について

- ・平成28年度は三重とこわか国体・少年種別のターゲットエイジが中学1年生になるが、すぐ全国大会で結果を出すことは難しいので、2年後に結果がでるようにしっかりと育成していく必要がある。
- ・水泳、体操のように中学校の運動部ではなく、ジュニアクラブでの強化が中心となる競技において指定するクラブ数を増加させたことは有効である。
- ・強化したジュニアクラブから強化指定した高校運動部につながるしくみを構築することで、成果が出やすいと考える。
- ・中学校、高校の各世代における成長度合いに合わせたトレーニングをしないと、けがの原因にもなる。また、「チームみえジュニア」に指定されている将来有望な小中学生のジュニア選手を対象としたアンケートによると、週当たりの練習回数や練習時間が長い選手がいるという結果がでており、トレーニングの方法等のサポートが必要である。

#### (2) 成年選手の育成・強化について

- ・250名程度の就職支援をしていくということだが、県内に本社のある会社を中心に協力を依頼することが重要であるが、他県に本社がある会社にもアプローチを行ってもよいのではないかと分析する必要がある。
- ・競技団体としては、就職支援事業を有効に活用し、採用する人数、タイミング、練習場所等を考慮して戦略的に進めていく必要がある。また、選手の獲得が競技団体、企業ともにメリットのあるようにしなければならない。
- ・現在、選手を様々な会社で雇用してもらってチームを運営しているが、同じチーム内の選手でも給料面や就業形態が違ったり、日本代表に選出されたことで、当初の契約より就業時間が短くせざるをえないなど、調整が必要となることがある。

#### (3) 女子アスリートサポートについて

- ・サポートをするための「調査・研究」は必要なことではあるが、現場へのフィードバック等に時間がかかる。国体が開催されることとは関係なく進めていく必要がある。
- ・相談窓口について、相談を受ける産婦人科医等と選手の意識や考え方にギャップがある。専門的な知識を持つ女性スタッフをチーム内で育成したり、そのようなスタッフを産婦人科医等と一緒に現場に派遣するしくみ等を検討してはどうか。

- ・女性タレント発掘事業については、中央競技団体や各教育委員会、県体育協会とどう連携をとっていくかが重要で、国の動きもしっかり把握して資金等も活用できるようにしていくべきである。

## 2 競技団体の戦略的な支援について

- ・平成28年度から競技団体のA～Dの自己評価がとりいられることによって、積極的な取組につながっていくと感じる。特に「2～3年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う」とするC群をB群にあげていく取組を県と連携して計画する必要がある。
- ・国では競技団体に対して、JOCやJSCが5段階でランクをつけている。評価の内容はオリンピックや世界選手権等の結果や一貫指導システムの評価等を点数化している。三重県のA～Dの評価の内訳をさらに細分化すれば、競技団体にとって、評価を上げるための対策を考えやすくなるのではないか。

(参考) 競技団体の区分

	評価の目安	取組
A群	安定して得点しており、平成33年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。	さらに上位入賞を狙うために必要な取組を支援します。
B群	国体で入賞レベルに達してきており、平成28年岩手国体で入賞を狙うことができる競技、種別。	確実に入賞するために必要な取組を支援します。
C群	本国体で入賞実績を有することもあるが、2～3年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。	中長期の計画的な取組を支援します。
D群	未成熟で強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。	主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を支援します。



## 三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項

### ○三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画について

三重県競技力向上対策本部では、平成 25 年 5 月に「三重県競技力向上対策基本方針（以下「基本方針」という）」を策定し、平成 33 年の国民体育大会での天皇杯・皇后杯獲得を目標に、計画的・総合的に取組を進めているところです。この中で、各期間の目標と取組として、平成 28 年度からの 3 年間を「育成期」と設定し、国民体育大会男女総合成績 10 位台、総合得点 1,100～1,300 点の獲得を目標として取り組むこととしています。このことから、「基盤・体制づくり期」の最終年にあたる平成 27 年度には、基本方針における各期間の目標と取組（計画）を見直すこととしています。

### ○基本方針における各期間の目標と取組の見直しについて（案）

#### (1) 競技スポーツを取り巻く環境の変化への対応

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定して以降、競技スポーツを取りまく環境が大きく変化しています。とりわけ、国民体育大会においては、新たな競技種目が平成 28 年岩手国体から順次導入されることが決定しています。

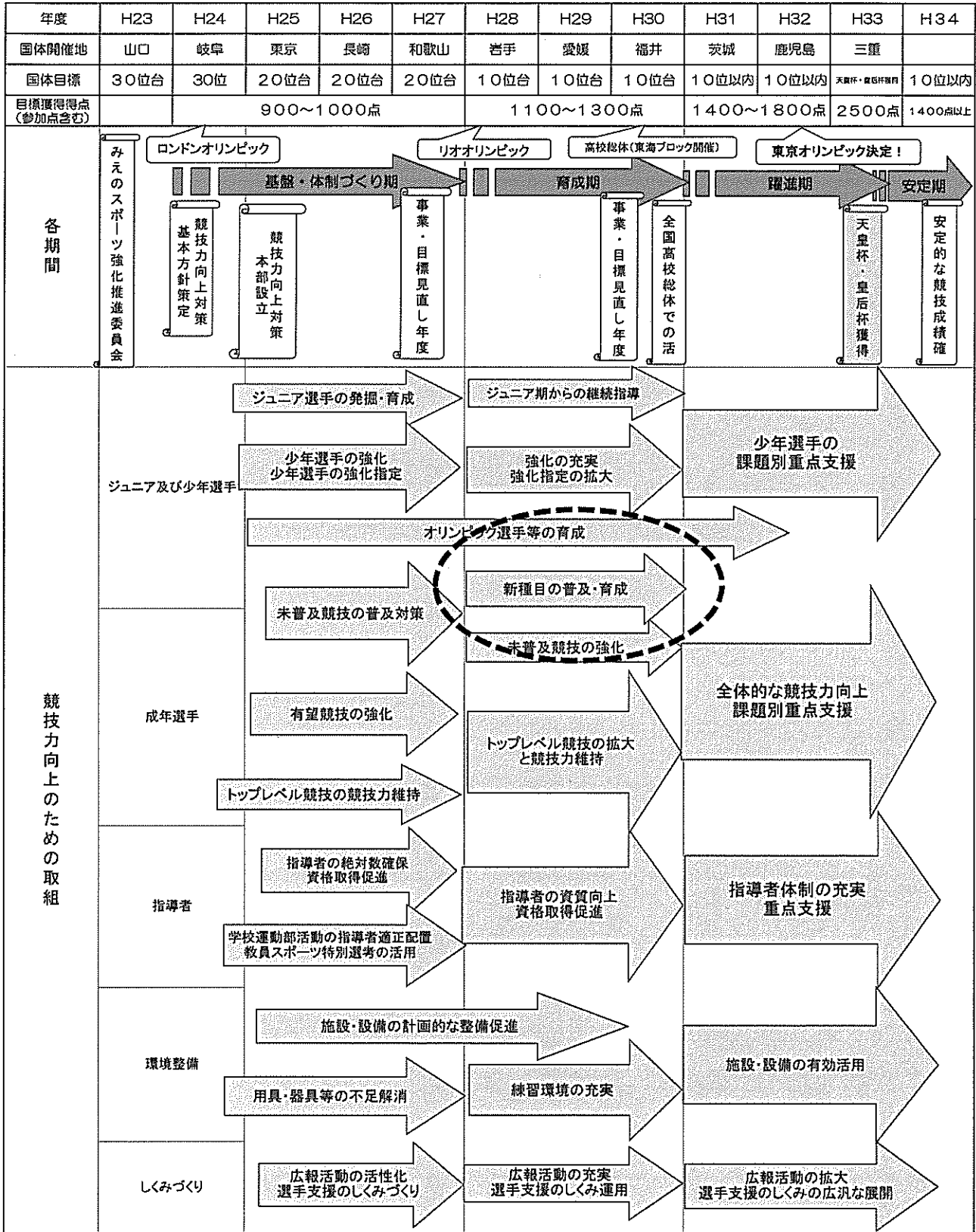
このことから、各期間の目標と取組における「育成期」に、「新たな競技種目の普及及び選手育成」に関する取組を位置づけ、対応することとします。

#### (2) 本県競技力の現状への対応

平成 24 年から 26 年までの国民体育大会における本県の成績は、「三重県競技力向上対策基本方針」に定めた男女総合成績 20 位台の目標に到達できない状況が続いたものの、平成 27 年の国民体育大会では男女総合成績 27 位、女子総合成績 23 位と目標を達成することができました。また、全国大会（全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会）の入賞件数は、平成 24 年度の 96 件から平成 27 年度は 117 件と増加しており、全国大会で入賞するレベルの選手の育成は進んでいると考えられます。

これらのことから、基本方針における平成 33 年の国民体育大会での天皇杯・皇后杯獲得に向けての目標順位や獲得得点、競技力向上のための取組は、「新たな競技種目の普及及び選手育成」を加える以外は修正を加えず現行のとおりとし、引き続き、競技力向上に取り組むこととします。

三重県競技力向上対策基本方針における各期間の目標と取組(案)



平成28年度三重県競技力向上対策事業一覧

	事業名	対象	備考
①	ジュニア選手発掘事業	ジュニア・少年選手	
②	チームみえジュニア育成事業		
③	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業		
④	ジュニアクラブ強化指定事業		
⑤	中学校運動部強化指定事業		
⑥	中学生H30インターハイ強化事業		
⑦	高等学校運動部強化指定事業		
⑧	高校生H30インターハイ強化事業		
⑨	トップジュニア育成事業		
⑩	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手共通	
⑪	トップ選手育成支援事業		
⑫	女性アスリートサポート事業		
⑬	女性アスリートタレント発掘事業		H28新規
⑭	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	
⑮	成年選手強化指定事業		H28新規
⑯	スポーツ指導員配置事業		
⑰	トップアスリート就職支援事業		
⑱	チームみえ指導者研修事業	指導者	
⑲	強化指定運動部、チーム指導者研修事業		
⑳	公認スポーツ指導者養成事業		
㉑	特別コーチ派遣事業		
㉒	環境整備補助事業	環境整備	
㉓	医・科学スタッフ派遣事業		
㉔	みえのアスリート応援・発信事業		

## ジュニア選手発掘事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【3,740 千円】

## 1 目的

競技を経験したことのない小・中学生を対象として、競技体験や育成プログラム等を実施することで、新たなジュニア選手を獲得する。

## 2 実施競技団体

国民体育大会正式競技のうち、6 競技団体程度とする。

## (1) 継続実施競技（5 競技団体）

水球、飛込、ボート、ホッケー、ボウリング

## (2) 新規実施競技（1 競技団体）

## 3 実施内容

- (1) 小中学生のうち、事業を実施する競技の未経験者を対象として体験会の参加者を公募する。体験会の開催後は、引き続き選手をめざすための育成プログラムに参加を促しトップアスリートをめざすジュニア選手を発掘する。
- (2) 育成プログラムは、競技練習会として年間 10 回程度開催し、競技者として育成を図る。参加者は、原則 10 回すべてに参加する。
- (3) 各競技団体は、中央競技団体による「競技者育成プログラム」を参考に、年間の指導を行う。
- (4) 事業を実施する競技団体は「スポーツ教育プログラム研修会」にジュニア選手、保護者とともに参加し、技術、技能以外に、競技者として必要な知識の習得や保護者サポートについて研修する。
- (5) 実施競技団体は、育成プログラム終了後のジュニア選手育成のため、競技を継続できる環境をジュニア選手に提供する。
- (6) 実施競技団体に対して、競技体験や育成プログラムでの活動を目的とした活動のうち、旅費、消耗品費、施設使用料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

## 4 年間計画

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 5～6 月  | 体験会の広報                    |
| 7～8 月  | 体験会の実施                    |
| 9～2 月  | 育成プログラムの実施                |
| 11～2 月 | スポーツ教育プログラム（競技継続のサポート）の実施 |

## チームみえジュニア育成事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【21,752 千円】

### 1 目的

将来有望なジュニア選手（小・中学生）をチームみえジュニアとして育成し、その強化活動を支援し、長期的な競技力の向上を図る。

### 2 対象

三重県体育協会加盟の国民体育大会正式競技である競技団体とする。

### 3 実施内容

- (1) 各競技団体が取り組む、将来有望なジュニア選手の育成活動（チームみえジュニア）を支援する。
- (2) 配分については、各競技団体の活動実績に応じて配分される基礎配分と競技実績に応じて配分される競技力配分として配分する。その他、必要に応じてヒアリング等により調整行う。
- (3) 競技団体への配分については、三重県競技力向上対策本部と協議のうえ、委託事業者において行う。
- (4) 各競技団体に対する配分額等の決定後、委託事業者及び対策本部と連携して競技団体への通知及び活動に対する助言を行う。
- (5) チームみえジュニア育成に対して実施する強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

4 月中旬 強化費の配分額決定

5～3 月 強化活動支援

## チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業 実施方針

平成28年度当初予算【1,401千円】

### 1 目的

全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手（小・中学生）を「チームみえジュニア」として指定し、ジュニア選手の意識醸成を図るとともに、競技団体、指導者、保護者が一体となって、ジュニア選手の育成・強化を図ることを目的とする。

### 2 対象

県内競技団体からの推薦を受け、全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手とその指導者・保護者とする。

### 3 実施内容

#### (1) 指定証の交付

指定するジュニア選手に対し、三重県競技力向上対策本部長（知事）から、「チームみえジュニア指定証」を交付する。

#### (2) 研修プログラム

##### ① 全体会

・「チームみえジュニア」としての意識醸成を目的とした研修。

##### ② 研修会

〔ジュニア選手・保護者対象〕

・選手間の交流を図るとともに、本県を代表する選手としての自覚を促すプログラムを実施する。

〔指導者対象〕

・競技の枠を越えて交流し、ジュニア選手のサポート体制の充実を図るプログラムを実施する。

### 4 年間計画

6～7月 「チームみえジュニア指定証」交付式、研修会の開催

## ジュニアクラブ強化指定事業 実施方針

平成28年度当初予算【1, 878千円】

### 1 目的

平成33年の「三重とこわか国体」において、少年種別の中心となる中学生選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援することで、中学生選手の長期的な競技力の向上を図る。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技及び平成28年度に新たに正式競技となる競技の県内のジュニアクラブとする。

### 3 実施内容

#### (1) 指定期間

指定日から平成29年3月までの単年度指定とする。

#### (2) 指定方法

三重県体育協会加盟の競技団体は、平成33年の「三重とこわか国体」に向けた強化を図っているジュニアクラブのうち、平成28年度の全国大会において、中学生選手の活躍が期待できるジュニアクラブを推薦することとする。

三重県競技力向上対策本部は、推薦を受けたジュニアクラブを選考し、指定する。

※ 推薦を受けたジュニアクラブにおいても、活動状況・活動人数等の実態が十分でないと認められる場合は、指定を行わないこともある。

#### (3) 補助対象

強化指定ジュニアクラブに対しては、全国大会での活躍を目的とした中学生選手の強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

3月下旬 強化指定クラブ選定、指定決定

5～3月 強化活動支援

## ジュニアクラブ強化指定推薦要領

三重県体育協会加盟の競技団体（以下「県競技団体」という。）は、本推薦要領に基づき、三重県競技力向上対策本部に強化指定ジュニアクラブを推薦することとする。

### 1 推薦できるジュニアクラブの範囲

平成33年の「三重とこわか国体」に向けて、県内で定期的に活動する中学生選手が所属するクラブのうち、平成28年度に全国大会で入賞するなどの期待ができるクラブ等とする。

※県競技団体が、中学生選手を育成しているジュニアクラブとして活動を認めているクラブに限る。

※複数の拠点（教室・道場・支部等）で活動しているクラブでも、推薦が行えるのは1拠点とする。

### 2 推薦基準及び手順

ジュニアクラブのうち、中学生選手が3名以上所属しており、過去3年間の全国大会において入賞の実績があるクラブについて、平成28年度に最も活躍が期待できる1クラブを推薦することとする。

※所属選手、入賞選手の性別は男女を問わない。

※全国大会とは、中央競技団体が主催する大会とする。



報告事項 7-2 ④ その3

平成28年3月24日

第6回競技力向上対策委員会決定

平成28年度 強化指定ジュニアクラブ

競技名	ジュニアクラブ名
水泳(競技)	津田スイミングスクール四日市校
水泳(水球)	三重ウォーターポロスターズ
水泳(飛込)	三重ダイビングクラブ
ボクシング	四日市ボクシングジム
体操(競技)	相好体操クラブ
レスリング	一志ジュニアレスリング教室
ウエイトリフティング	みえウエイトリフティングジュニアクラブ
卓球	松生TTC
フェンシング	鳥羽フェンシングクラブ

9クラブ

## 中学校運動部強化指定事業 実施方針

平成28年度当初予算【3,010千円】

## 1 目的

平成33年の「三重とわか国体」で少年種別の中心となる中学生選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援することで、中学生選手の長期的な競技力向上を図る。また、高等学校運動部との連携を促し、ジュニア・少年選手の強化を行う。

## 2 対象

三重県中学校体育連盟（以下「県中体連」という。）加盟の競技専門部に所属する中学校運動部、または、三重県体育協会加盟の競技団体に所属する中学校運動部を対象とする。

## 3 実施内容

## (1) 指定期間

平成28年4月から平成29年3月までの単年度指定とする。

## (2) 指定方法

三重県競技力向上対策本部は、県中体連の推薦を受けた強化指定候補運動部について、三重県教育委員会と協議をしたうえで選考し、指定を行う。

※県中体連に専門部がない中学校運動部については、三重県体育協会加盟の競技団体より三重県競技力向上対策本部に推薦ができる。

※推薦を受けた強化指定候補運動部においても、活動状況・活動人数等の実態が十分でないと思われる場合は、指定を行わないことがある。

※県中体連から推薦を受けた以外に全国大会において活躍が期待できる運動部がある場合は、三重県教育委員会、県中体連と協議のうえ指定することができる。

## (3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要なと認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

## 4 年間計画

3月下旬	強化指定運動部の決定
4月	指定証交付式
4月～3月	強化活動の支援

## 中学校運動部強化指定事業強化指定候補運動部推薦要領

三重県中学校体育連盟（以下「県中体連」という。）および三重県体育協会加盟の競技団体（以下「県競技団体」という。）は本推薦要領に基づき、三重県競技力向上対策本部に中学校強化指定候補運動部を推薦することとする。

## 1 対象

県中体連に加盟する競技専門部、または県競技団体に所属する中学校運動部

## 2 推薦基準

平成 33 年の「三重とこわか国体」に向けて、中学生選手の育成・強化を図るとともに、平成 28 年度の全国中学校体育大会等において、最も活躍が期待できる中学校運動部とする。

## 3 推薦方法

- (1) 県中体連の各競技専門部は、推薦基準に基づき、県競技団体および該当中学校長と十分協議のうえ、中学校運動部を県中体連に推薦する。
- (2) 推薦する中学校運動部は、原則として男子、女子で区別し、いずれか 1 部とする。ただし、同じ中学校において男女共同で活動している運動部については、男女を区別することなくひとつの運動部とする。
- (3) 全国中学校体育大会等で特に活躍が期待できる競技においては、活動の実態に応じて、男女それぞれ 1 部ずつを推薦することができる。

## 【強化指定推薦競技の考え方】

平成 28 年度に、中学校運動部として十分な活動状況・活動人数等が確保できる運動部であり、次の条件に該当する競技とする。

①平成 28 年度国民体育大会での正式競技となる競技

②平成 28 年度全国中学校体育大会等での活躍が期待できる競技で、過去 3 年間に於いて、全国大会入賞または東海大会優勝の実績がある競技

※男子部・女子部・男女部での推薦については実態に応じて行うこととする。

※リレーについては個人種目として取り扱う。

※全国中学校体育大会が実施されない競技については、同時期に開催される全国規模の大会を同等の大会とみなすこととする。

※同一競技で男子、女子を区別して推薦する場合は、男子部、女子部それぞれで活動し、過去 3 年間で男子、女子ともに全国大会の入賞実績があることとする。

※推薦を受けた強化指定運動部においても、活動状況・活動人数等の実態が十分でないと認められる場合は、指定を行わない場合がある。

報告事項 7-2 ⑤ その3

平成28年3月24日

第6回競技力向上対策委員会決定

平成28年度 中学校強化指定運動部

競技名	男子	女子
バレーボール	伊賀市立大山田中学校	-
卓球	-	-
柔道	-	四日市市立三滝中学校
バスケットボール	-	四日市市立朝明中学校
サッカー	-	-
ハンドボール	四日市市立羽津中学校	四日市市立西笹川中学校
ソフトボール	-	度会町立度会中学校
軟式野球	松阪市立久保中学校	-
ソフトテニス	-	紀宝町立矢渕中学校
剣道	-	四日市市立西朝明中学校
体操競技	-	-
新体操	-	-
バドミントン	-	伊勢市立倉田山中学校
相撲	志摩市立磯部中学校	-
水泳競技	-	-
テニス	桑名市立光陵中学校	-
陸上競技	多気町松阪市学校組合立多気中学校	

13校13部

## 中学生H30インターハイ強化事業 実施方針

平成28年度当初予算【2,072千円】

### 1 目的

平成30年度全国高等学校総合体育大会に向け、本県の高等学校運動部の活躍につながる中学校運動部の強化を目的とし、県内トップレベルの中学校運動部の強化を図る。

### 2 対象

三重県中学校体育連盟加盟の競技専門部（以下「競技専門部」という。）または、競技専門部がない中学校運動部のうち、本事業を複数の運動部によって合同で実施する中学校運動部（以下「中学校運動部」という。）

### 3 実施内容

#### (1) 中学校合同強化練習会（6競技専門部程度）

競技専門部および中学校運動部の指導者及び県内ベスト4レベルのチーム等を対象として、強化練習会を開催する。強化練習会には、全国トップレベルのチーム及び指導者を招へいすることができる。

#### (2) 補助対象

競技専門部および中学校運動部に対して、全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

#### (3) 実施競技専門部の決定

実施する競技の決定については、委託事業者と三重県競技力向上対策本部の協議のうえ選定・実施を行う。

### 4 年間計画

4月～5月	実施競技専門部決定
5月～3月	合同強化練習会実施

## 高等学校運動部強化指定事業 実施方針

平成28年度当初予算【23,565千円】

## 1 目的

平成30年の全国高等学校総合体育大会、平成33年の「三重とこわか国体」などの全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図ることを目的とする。

## 2 対象

次のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技であり、三重県高等学校体育連盟（以下「県高体連」という。）に加盟する競技専門部、または三重県体育協会に加盟する競技団体（以下「県競技団体」という。）に所属する高等学校運動部
- (2) 三重県高等学校野球連盟（以下「県高野連」という。）に所属する高等学校硬式野球部

## 3 実施内容

## (1) 指定期間

- ①指定期間は、三重県競技力向上対策基本方針に基づき、次の3期とする。
  - ・第1期：平成26年度～平成27年度（基盤・体制づくり期）
  - ・第2期：平成28年度～平成30年度（育成期）
  - ・第3期：平成31年度～平成33年度（躍進期）
- ②指定を受けた高等学校運動部は、原則として、各期の最終年度まで継続して指定し、各期の最終年度に、見直すこととする。
- ③指定期間内であっても、三重県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が必要と認めた場合は、指定する高等学校運動部の追加、または指定の取り消しを行うことがある。
- ④硬式野球競技については、単年度の指定とする。

## (2) 指定方法

対策本部は、県高体連、または県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体から推薦を受けた高等学校運動部を指定候補として、三重県教育委員会（以下「県教委」という。）と協議したうえで、次のように指定する。

- ①指定候補について、活動状況や直近3年間の競技実績、指定期間中の全国大会における入賞の見込等を踏まえて、下記のとおり区分して指定する。また、この指定区分は、年度ごとに見直すこととする。
  - ・S強化指定運動部：全国大会において、上位入賞が期待できる運動部
  - ・A強化指定運動部：全国大会において、入賞が期待できる運動部
  - ・B強化指定運動部：全国大会において、将来、活躍が期待できる運動部なお、指定候補であっても、活動状況や大会における実績等から、この方針の目的に合致しないと判断する場合は、指定しないことがある。
- ②指定候補以外でも、この方針の目的に合致すると認められる高等学校運動部を県高体連等と協議のうえ、指定することができる。

なお、硬式野球競技については、県高野連から、平成28年度に全国大会において活躍が期待できる高等学校硬式野球部の推薦を受け、対策本部が県教委と協議したうえで、「高等学校硬式野球特別指定運動部」として指定する。

(3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

- |       |            |
|-------|------------|
| 3月下旬  | 強化指定運動部の決定 |
| 4月    | 指定証交付式     |
| 4月～3月 | 強化活動の支援    |

## 高等学校運動部強化指定事業強化指定候補運動部推薦要領

### 1 対象

下記のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技で、三重県高等学校体育連盟（以下「県高体連」という。）に加盟する競技専門部、または三重県体育協会に加盟する競技団体（以下「県競技団体」という。）に所属する高等学校運動部
- (2) 三重県高等学校野球連盟（以下「県高野連」という。）に所属する高等学校硬式野球部

### 2 推薦基準

- (1) 平成 30 年の全国高等学校総合体育大会、及び平成 33 年の「三重とこわか国体」に向けて、少年種別における強化の中心となることが期待される高等学校運動部であること。
- (2) 硬式野球競技については、平成 28 年度に全国大会において活躍が期待できる高等学校硬式野球部であること。

### 3 推薦方法

- (1) 県高体連の各競技専門部は、推薦基準に基づき、県競技団体と十分協議のうえ、高等学校運動部を県高体連に推薦する。
- (2) 県高体連は、各競技専門部の推薦を取りまとめ、三重県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）に推薦する。
- (3) 県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体が推薦基準に基づき、対策本部に推薦する。
- (4) 推薦する高等学校運動部は、原則として、男子、女子で区別し、それぞれで 1 部とする。  
ただし、同じ高等学校で男子、女子ともに推薦基準を満たし、かつ、男女合同で活動している運動部については、男女を区別することなく、ひとつの運動部として推薦することができる。
- (5) 硬式野球競技については、県高野連が 1 部を上限に、対策本部に推薦する。



	競技名	強化指定運動部	
		男子	女子
1	陸上競技	宇治山田商業(男女)	
		四日市工業	松阪商業
	陸上競技(駅伝)	久居	-
2	水泳(競泳)	伊賀白鳳	四日市商業
	水泳(飛込)	津田学園(男女)	
	水泳(水球)	尾鷲	-
	水泳(シンクロノイズ*スミング)	-	-
	水泳(シンクロノイズ*スミング)	-	-
3	サッカー	四日市中央工業	三重
4	テニス	四日市工業	四日市商業
5	ボート	津	-
6	ホッケー	白子	-
7	ボクシング	久居	明野
8	バレーボール	松阪工業	津商業
			三重
9	体操(競技)	暁(男女)	
	体操(新体操)	-	名張
10	バスケットボール	四日市工業	四日市商業
11	レスリング	いなべ総合学園	-
		朝明	-
12	セーリング	津工業	-
13	ウエイトリフティング	四日市工業	亀山
		四日市中央工業	-
14	ハンドボール	四日市工業	四日市商業
15	自転車	朝明	-
16	ソフトテニス	三重	三重
17	卓球	高田	白子
18	軟式野球	高田	-
19	相撲	宇治山田商業	-
20	馬術	高田	
21	フェンシング	海星	津東
22	柔道	四日市中央工業	名張
23	ソフトボール	四日市工業	伊勢学園
			津商業
24	バドミントン	皇学館	暁
25	弓道	松阪工業	伊勢学園
26	ライフル射撃	久居(男女)	
27	剣道	三重	鈴鹿
28	ラグビーフットボール	朝明	朝明
29	山岳	-	-
30	カヌー	桑名西	-
31	アーチェリー	四日市四郷(男女)	
32	空手道	-	-
33	銃剣道	皇学館	-
34	クレール射撃	-	-
35	なぎなた	-	稲生
36	ボウリング	津田学園	-
37	ゴルフ	津田学園(男女)	
		三重	-
38	スケート	-	-
39	アイスホッケー	-	-
40	スキー	-	-
41	硬式野球	海星	-

## 高校生 H30 インターハイ強化事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【9, 500 千円】

## 1 目的

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会に向け、本県選手及び高等学校運動部の活躍を目的として、県内のトップレベルの高等学校運動部及び選手の強化並びに、県内中学校と連携した選手育成を行う。

## 2 対象

全国高等学校総合体育大会及び国民体育大会の正式競技である三重県高等学校体育連盟所属の競技専門部（以下「競技専門部」という。）

## 3 実施内容

## (1) 高等学校合同強化練習会（20 競技専門部程度）

競技専門部の指導者及び県内ベスト 4 レベルのチーム等を対象として強化練習会を開催する。

強化練習会には、全国トップレベルのチーム及び指導者を招へいすることができる。

## (2) 中学校・高等学校合同練習会（10 競技専門部程度）

県内でトップレベルの中学生選手と、県内トップレベルの高校生選手との合同練習会を開催する。

## (3) 補助対象

競技専門部に対して、全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認められた経費の支援を予算の範囲内で行う。

## (4) 実施競技専門部の決定

実施する競技専門部の決定については、委託事業者が三重県競技力向上対策本部と協議のうえ選定・実施を行う。

## 4 年間計画

- |         |               |
|---------|---------------|
| 4 月     | 実施競技専門部決定     |
| 4 月～3 月 | 強化練習会、合同練習会実施 |

## トップジュニア育成事業 実施方針

平成28年度当初予算【3,000千円】

### 1 目的

県民の皆さんからの寄附金を財源として、全国大会等で優秀な成績を収め、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されるジュニア選手を対象に、強化活動を支援することにより、選手の育成・強化を図る。

### 2 対象

将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生とする。

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

三重県競技力向上対策本部長（知事）は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生を強化指定する。

#### (2) 補助対象

強化指定選手に対しては、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、県外遠征等の旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が強化活動に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

4月から随時	寄附金の募集
5月	第1次強化指定選手の推薦・選定
6月上旬	第1次強化指定選手の決定
9月	第2次強化指定選手の推薦・選定
10月上旬	第2次強化指定選手の決定

## トップジュニア育成事業に係る「チームみえスーパージュニア」指定候補選手推薦要領

### 1 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる県内中学校および高等学校に在籍する選手とする。

### 2 推薦基準

全国大会で優秀な成績を収め、今後も全国大会や国際大会などの大規模な大会において活躍が期待され、次の基準を満たしている選手とする。

- (1) 平成 27 年度もしくは 28 年度の全国大会\*<sup>1</sup>で優勝、または、平成 27 年度の国際大会\*<sup>2</sup>で 3 位入賞以上の実績があり、平成 28 年度に日本代表として国際大会\*<sup>2</sup>への出場が決定（内定）している。
- (2) 団体競技にあつては、平成 28 年度に日本代表として、国際大会\*<sup>2</sup>に出場するなど、顕著な活躍が見られる選手も対象とする。
- (3) この他、平成 28 年度に特に顕著な実績を収めた選手がいる場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

- |   |          |                              |
|---|----------|------------------------------|
| { | * 1 全国大会 | ① 国民体育大会                     |
|   |          | ② 全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック       |
|   |          | ③ 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選抜選手権大会 |
|   |          | ④ ①・②・③と同じ競技レベルと認められる大会      |
|   | * 2 国際大会 | ① 世界ジュニア・ユース大会、アジアジュニア・ユース大会 |
|   |          | ② ①と同じ競技レベルと認められる大会          |

### 3 推薦方法

- (1) 各競技団体は、上記 2 の推薦基準を満たすと判断できる場合、三重県競技力向上対策本部に対象となる選手を推薦することができる。
- (2) 県内に競技団体がないオリンピック正式種目のうち、上記 2 の推薦基準を満たすと判断できる場合は、所属する団体（クラブチーム等）より、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

### 4 その他

指定選手の選考については、各競技団体等の推薦があつた選手をもとに、競技実績・活動状況等により、三重県競技力向上対策委員会で行う。

チームみえ国体選手強化事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【74,590 千円】

1 目的

平成 28 年「岩手国体」において男女総合成績 10 位台の獲得と総合得点 1100 点をめざすため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）に対し、重点的な強化に取り組む。

2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

3 実施内容

- (1) 各競技団体における第 71 回岩手国体分析シートを基に、種別ごとに区分を行う。
- (2) A・B 群に区分された競技種別に対しては、重点的に強化費を配分し、競技団体が実施する国民体育大会に向けた強化活動を支援する。
- (3) 支援期間は一年間とするが、各競技団体は、平成 28 年「岩手国体」で成果があげられるよう、本大会に重点を置いた強化活動を進めることとする。
- (4) 平成 28 年度に開催される国民体育大会東海ブロック大会、本大会、各種全国大会の結果等により、随時、追加配分を行う。
- (5) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費とする。

4 年間計画

4 月上旬に当初配分を行い、国民体育大会東海ブロック大会後、本大会後に追加配分を行う。

※ 区分について

	区分の目安	取組
A 群	安定して得点しており、平成 33 年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。	さらに上位入賞を狙うために必要な取組を行います。
B 群	国体で入賞レベルに達してきており、平成 28 年岩手国体で入賞を狙うことができる競技、種別。	確実に入賞するために必要な取組を行います。
C 群	本国体で入賞実績を有することもあるが、2～3 年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。	中長期の計画的な取組を行います。
D 群	強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。	主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を行います。

## トップ選手育成支援事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【18,208 千円】

## 1 目的

育成期において、各競技団体の年間を通じた選手強化や普及活動等を支援し、全国大会入賞レベル相当の競技力獲得及び競技普及を図る。

## 2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

## 3 実施内容

- (1) 各競技団体における第 71 回岩手国体分析シートを基に、種別ごとに区分を行う。
- (2) C・D 群に区分された競技種別に対し、基盤体制づくり期における強化活動の実績、今年度の目標、今後の強化計画と年度目標、国民体育大会エントリー数など、総合的に判断し、競技団体に一括して行う。
- (3) 支援期間は一年間とし、各競技団体の平成 28 年「岩手国体」に向けた強化活動及び年間を通じて取り組む計画的な強化及び普及活動を支援する。
- (4) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要なと認めた経費とする。

## 4 年間計画

4 月上旬に配分を行う。

## ※区分について

	評価の目安	取組
A 群	安定して得点しており、平成 33 年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。	さらに上位入賞を狙うために必要な取組を支援します。
B 群	国体で入賞レベルに達してきており、平成 28 年岩手国体で入賞を狙うことができる競技、種別。	確実に入賞するために必要な取組を支援します。
C 群	本国体で入賞実績を有することもあるが、2～3 年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。	中長期の計画的な取組を支援します。
D 群	未成熟で強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。	主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を支援します。

## 女性アスリートサポート事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【1, 395 千円】

### 1 目的

女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性アスリートの抱える諸課題について実態を把握し、指導者の知識習得や意識向上を図るとともに、サポート体制の構築を図る。

### 2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体およびその団体に所属する女性アスリート、指導者等とする。(新たに正式競技として導入される競技を含む)

### 3 実施内容

- (1) 女性アスリート及び指導者の研修会を開催し、女性アスリートが抱える諸課題について実態を把握するとともに、継続して競技に取り組むための調査・研究を行う。
- (2) 三重県産婦人科医会など関係団体と連携し、女性アスリートが抱える諸課題について実態を把握するとともに、助言を行えるよう相談窓口の設置や専門家の派遣によりサポートを図る。

### 4 年間計画

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 5 月～3 月 | 相談窓口の開設、専門家の派遣              |
| 8 月～9 月 | 女性アスリートの指導に関する研修会実施         |
| (年間)    | 女性アスリートのサポート等に係る調査・研究及び情報提供 |

## 女性アスリートタレント発掘事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【6, 002 千円】

## 1 目的

優れた資質あるジュニア世代の女子タレントの発掘を行い、教育プログラムや専門プログラム等を実施することで、ワールドクラスの競技力を獲得し、将来国民体育大会をはじめ国際大会で活躍するとともに、その経験を生かし、確固たる考え方、行動力を持ったリーダーの育成を図ることを目的とする。

## 2 対象（競技）

第 71 回岩手国体以降の女子種別において、新たに正式種目になる競技のうちの 1 競技とする。

## 3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部が日本スポーツ振興センター（JSC）、中央競技団体（NF）、県競技団体（PF）、高等教育機関等と連携して運営委員会、並びにタレントの選考に係る選考委員会、各種プログラム内容の検討を行うプログラム委員会を立ち上げる。
- (2) 運営委員会にて事業内容、計画等の決定を行う。
- (3) 選考委員会にてオーディションの実施内容、タレントの選考を行う。
- (4) プログラム委員会にてタレントに対して実施する内容の検討を行う。
- (5) 実施競技団体は事務局と連携し、主体的に事業を実施する。

## 4 年間計画

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 5 月    | 各種委員会の設立、オーディション、プログラムの内容検討 |
| 8 月以降  | オーディション実施                   |
| 12 月   | 指定証交付式                      |
| 12 月以降 | プログラム開始                     |



大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【13,008 千円】

1 目的

平成 33 年の「三重とこわか国体」において、天皇杯・皇后杯の獲得を目指すため、平成 33 年に各競技の成年種別で中心となり、且つ第 71 回以降の国民体育大会で活躍が期待されるチームの指定を行い、成年選手の重点的な競技力向上を図る。

2 対象

国民体育大会の正式競技で次の(1)、(2)のどちらかに該当する大学運動部、企業・クラブチーム等とする。

(1) 第 71 回以降の国民体育大会において当該クラブまたは所属選手の活躍により、入賞が期待できるチーム。

(2) 国民体育大会(東海ブロック大会を含む)に出場できていない成年種別において、前年度に新たにチーム結成を行い、三重県代表として出場するチーム。

※チームの概念

- ・団体競技(チームスポーツ)は、国民体育大会のエントリー数の半数以上を占めているチーム。
- ・団体競技(チームスポーツを除く)は、団体チームとして全国大会に出場しているチーム。
- ・個人競技は、複数の選手が在籍するチーム。

3 実施内容

(1) 指定期間

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの期間とする。

(2) 指定方法

強化指定チームは三重県競技力向上対策本部が所属競技団体と協議を行い選出する。選出されたチームについては、三重県競技力向上対策委員会において検討・決定する。

【A強化指定】

過去 3 年間における国民体育大会において団体競技は上位入賞、または複数回の入賞、または個人競技は複数名による複数回の入賞があり、第 71 回国民体育大会において活躍が期待できるチーム。

【B強化指定】

過去 3 年間における国民体育大会、または全日本選手権大会、全日本大学選手権大会等において入賞の実績がある、または、第 71 回国民体育大会において活躍が期待できるチーム。

【C強化指定】

過去 3 年間における国民体育大会(東海ブロック大会も含む)、または全日本選手権大会、全日本大学選手権大会等に出場し、平成 33 年の「三重とこわか国体」に向けた競技力向上の中心となることが期待できるチーム。

【特別指定1】

全国大会において連覇などの特に優れた実績があり、本県のスポーツ振興に大きく貢献するチーム。

【特別指定2】

2の(2)に該当するチーム。

(3) 補助対象

指定されたチームには、全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、指導者の報償費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

5月	指定証交付
随時	強化活動支援

## 報告事項 7-2 ⑭ その2

平成28年3月24日  
第6回競技力向上対策委員会決定

平成28年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る強化指定チーム

## 【A強化指定】

	チーム名	競技名
1	伊賀FCくノ一	サッカー
2	相好体操クラブ	体操
3	北勢ライディングファーム	馬術

## 【B強化指定】

	チーム名	競技名
4	三重バイオレットアイリス	ハンドボール
5	NTN陸上競技部	陸上競技
6	エクセディ卓球部	卓球
7	三重県警察（柔道）	柔道
8	AGF陸上競技部	陸上競技
9	名張乗馬クラブ	馬術
10	三重県警察（射撃）	射撃
11	PEARLS	ラグビーフットボール

## 【C強化指定】

	チーム名	競技名
12	三重県警察（剣道）	剣道
13	クレイン東海	馬術
14	皇學館大学（柔道）	柔道
15	株式会社安永弓道部	弓道

## 【特別指定1】

	チーム名	競技名
16	デンソー女子陸上長距離部	陸上競技

## 成年選手強化指定事業 実施方針

平成 28 年度予算【1, 500 千円】

## 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、平成 33 年の「三重とこわか国体」に向けた成年選手の競技力向上を計画的に推進することを目的とする。

## 2 対象

平成 33 年の「三重とこわか国体」における正式競技に取り組んでいる大学生及び社会人で、次に掲げる条件を満たす者とする。

- ① 「チームみえ」の一員として、平成 33 年の「三重とこわか国体」での活躍が特に期待される者
- ② 東京オリンピック競技大会や世界選手権大会での活躍が期待される者

ただし、東京オリンピック競技大会の正式競技以外の競技に取り組んでいる選手については、条件①のみを満たすこととする。

## 3 実施内容

- (1) 強化指定選手の決定については、別途定める「成年選手強化指定事業 選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定期間については、平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの単年度指定とする。
- (3) 補助対象については、全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費の支援を予算の範囲内で行う。

## 4 年間計画

- 4 月 強化指定選手の選考及び決定
- 随時 強化活動支援
- 10 月 第 71 回国民体育大会出場

## スポーツ指導員配置事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【18,933 千円】

## 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを学校運動部活動等の指導現場に派遣することで、ジュニア・少年選手の競技力向上を図るとともに、現役のトップアスリートとして成年選手の競技力向上を図ることを目的とする。

## 2 対象

「三重とわか国体」の正式競技に取り組んでいる現役の成年選手で、次に掲げる条件のいずれも満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞、もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

- ① 国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会に出場し、個人は 3 位以上、団体は 8 位以上の成績を収めた者
- ② 将来、本県のジュニア・少年選手の指導者として活躍が期待される者
- ※ 本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。
- ※ 成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

## 3 実施内容

- (1) 全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートをスポーツ指導員として選考・指定する。
- (2) ジュニア・少年選手の競技力向上を図るため、スポーツ指導員を学校運動部活動等の指導現場に派遣する。
- (3) 成年選手の競技力向上を図るため、スポーツ指導員を強化練習や合宿等の活動現場に派遣する。
- (4) スポーツ指導員の活動に係る旅費については、予算の範囲内で支出する。

## 4 年間計画

- 4 月 協定書の締結
- 4 月～ 各競技団体への派遣
- 9 月～ 国民体育大会への派遣

## トップアスリート就職支援事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【14,460 千円】

## 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートに対し、県内企業への就職支援を行うことで、平成 33 年の「三重とこわか国体」において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とする。

## 2 対象選手

「三重とこわか国体」の正式競技に取り組んでいる選手及び指導者で、次に掲げる条件のいずれかを満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞、もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

- ① 国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会に出場し、個人・団体ともに 8 位以上の成績を収めた者
- ② 本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者

※ 成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

## 3 対象企業

県内に本社または事業所を有し、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを採用する意思のある企業とする。

## 4 実施内容

- (1) 「三重とこわか国体」に向けた成年選手強化に係る取組及び長期ビジョンを県内企業に説明し、トップアスリートの採用依頼を行う。
- (2) 求人・求職に係る情報の管理を行う。
- (3) 人物評価及び「三重とこわか国体」に向けた意気込み等を確認するために面接を行う。
- (4) 企業及びトップアスリートにとって有益なマッチングが図れるよう、調整を行う。
- (5) 企業及びトップアスリートに推薦者・推薦企業の打診を行う。
- (6) 採用選考の調整を行う。
- (7) トップアスリートが培ってきた知識や経験を発揮するとともに、競技活動にも集中して取り組めるよう、企業に対し、フォローアップを行う。

## 5 年間計画

4 月～	トップアスリートの採用依頼
随時	求人・求職に係る情報の管理
	面接の実施
	マッチングの調整
	推薦者・推薦企業の打診
	採用選考の調整
	フォローアップの実施

## チームみえ指導者研修事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【541 千円】

### 1 目的

三重県代表チームの監督、コーチ等スタッフに対し、最新の指導理論、スポーツ医・科学に基づく知識等を習得させるための研修会を開催する。

また、短期的、中・長期的な視点に立った本県競技力の向上について、共通理解を深めるとともに、本県指導者の中核を担うための意識の醸成を図る。

### 2 対象

- ・各競技団体の本県代表チームの監督や選手選考に関わる指導者。
- ・競技者として本県で活動している成年選手。
- ・その他、競技団体が認めた者。

### 3 実施内容

- (1) 最新の指導理論、スポーツ医・科学等、本県競技力の向上のために必要な内容の研修会を開催する。
- (2) 短期的、中・長期的な視点に立った本県競技力の向上について指導者間で情報交換を行い、国民体育大会をはじめとする国内外の大会で活躍する選手の育成を促す。
- (3) 研修会を通じて、本県指導者の中核を担うという意識の醸成を図る。
- (4) 参加者に対し、予算の範囲内で旅費を支出する。

### 4 年間計画

2月 研修会実施

## 強化指定運動部、チーム指導者研修事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【1,972 千円】

### 1 目的

平成 28 年度に強化指定されている運動部、チームの指導者に対し研修を実施することで、専門競技の異なる指導者との連携を図るとともに、指導者としての資質の向上を図る。

### 2 対象

平成 28 年度に強化指定されている運動部、チームの指導者

### 3 実施内容

- (1) 本事業においては、県内研修会において、最新の指導理論や指導方法を習得するとともに、専門競技の異なる指導者との連携を図り、本県競技力向上の中核を担う指導者としての意識の醸成を図る。
- (2) 指定する指導者のうち、希望する指導者には、中央競技団体や国立スポーツ科学センター等が実施する県外の研修会、セミナー及びトップレベルの指導現場等での研修への参加を支援する。県外研修に関しては、1 人 1 回とする。
- (3) 指定する指導者には、県内研修及び県外研修会に参加する旅費、宿泊費の経費を予算の範囲内で支出する。

### 4 年間計画

5 月	指定証交付、第 1 回県内研修
7～8 月	第 2 回県内研修
随時	県外研修
12～2 月	第 3 回県内研修



## 公認スポーツ指導者養成事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【330 千円】

### 1 目的

国民体育大会の監督となるために必要な（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者資格の取得を積極的に促進し、資格取得のための支援を行う。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技である県内競技団体から推薦を受け、国民体育大会の監督資格に必要な（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者資格を取得した者とする。

### 3 実施内容

- (1) (公財) 日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を取得するために、必要な経費の一部を補助する。
- (2) 対象となる指導者の種類
  - ・指導員
  - ・上級指導員
  - ・コーチ
  - ・上級コーチ
  - ・教師
  - ・上級教師
- (3) 補助対象とする経費については、資格取得のための共通科目及び専門科目受講にかかる経費とし、上限を 15 千円とする。
- (4) 各競技団体からの推薦によって資格取得した者に限る。1 競技団体につき、2 名程度とする。
- (5) 資格更新のための研修は対象外とする。

### 4 年間計画

4 月 実施要項配布及び事業の実施

## 特別コーチ派遣事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【2, 562 千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍した選手、もしくは優れた指導実績を持つ指導者を競技団体に派遣することで、指導者の指導力向上や選手のパフォーマンスの向上を図り、国民体育大会における競技得点の獲得を目指す。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技とする。

### 3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部は、特別コーチの派遣を希望する競技団体を対象にヒアリングを行い、競技力の状況及び本事業における計画等を総合的に判断したうえで、派遣する競技団体を選考する。
- (2) 実施競技団体は、5～7 競技団体とし、年 1～2 回重点的に指導するワンプointコーチ、または年間を通じて指導する年間コーチを派遣する。
- (3) 実施競技団体は、特別コーチによる強化練習会や合宿等の計画を立て、実施する。
- (4) 特別コーチに対しては、旅費・報償費の経費を予算の範囲内で支出する。

### 4 年間計画

- |       |               |
|-------|---------------|
| 5 月   | 特別コーチ派遣競技団体決定 |
| 5～3 月 | 特別コーチ派遣       |

## 環境整備補助事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【7,000 千円】

### 1 目的

平成 33 年の「三重とわか国体」に向けて競技力の向上を図るため、競技団体に対し、強化活動等に必要の特殊用具備品の購入に補助を行う。

### 2 対象

三重県体育協会加盟団体のうち、国民体育大会正式競技である競技団体で、特に高額で特殊用具備品が必要であると認められる競技団体とする。

### 3 実施内容

- (1) 事業を希望する競技団体について、競技特性、用具の特殊性、見積価格、ヒアリングの内容、現地調査を総合的に精査し、予算の範囲内で補助金を交付する競技団体を決定する。
- (2) 予算の範囲内で補助を行う。
- (3) 競技団体は、備品台帳に当該備品を記載し、適切な管理を行うものとする。
- (4) 県は、本事業の実施状況について、実態調査を行うものとする。
- (5) 補助については、同一年度に 1 団体 1 回限りとする。

### 4 年間計画

4 月	募集
5 月	申請
6 月	交付決定、備品購入
随時	実績報告

## 医・科学スタッフ派遣事業 実施方針

平成 28 年度当初予算【3, 293 千円】

## 1 目的

平成 33 年の「三重とこわか国体」において天皇杯、皇后杯の獲得を目指すため、競技団体が実施する強化練習会、強化合宿等（以下、「強化活動」という。）に、フィジカルトレーニングやコンディショニング、スポーツ心理学、スポーツ栄養学などの知識をもつ専門家（以下「専門家」という。）を派遣し、選手のパフォーマンスの向上や指導者の指導力の向上を図る。

## 2 対象

国民体育大会の正式競技で、三重県体育協会加盟の 6 競技団体程度とする。

## 3 実施内容

- (1) 競技団体が実施する国民体育大会に向けた強化活動において、スポーツ医・科学の専門家を年間 5 回程度招へいし、最新の手法や考え方による指導・助言を受け、選手のパフォーマンスの向上、指導者の指導力の向上を図る。
- (2) 三重県競技力向上対策本部は、事業を希望する競技団体を公募し、競技特性、これまでのスポーツ医・科学の導入状況、及びヒアリング内容等を総合的に精査し、実施する競技団体を決定する。
- (3) 競技団体は、スポーツ医・科学の手法や考え方を活かした強化活動の推進を図る。
- (4) 補助対象経費は、専門家の旅費、宿泊費、報償費とする。
- (5) 競技団体の選定については、三重県競技力向上対策本部と協議のうえ、委託事業者において行う。

## 4 年間計画

- |     |          |
|-----|----------|
| 4 月 | 募集       |
| 5 月 | 派遣競技団体決定 |
| 随時  | 事業実施     |
| 3 月 | 実績報告     |

## みえのアスリート応援・発信事業 実施方針

平成28年度当初予算【3,670千円】

### 1 目的

本県代表として活躍するアスリートを幅広く情報発信することで、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成する。

### 2 実施内容

#### (1) 広報紙の作成

県内で活躍しているアスリートを幅広く情報発信できるよう、広報紙の作成を行う。年2回程度発行を行う。

[配布先]

- ・ 県内の小中高等学校の児童生徒
- ・ 県内のスポーツ関連施設
- ・ イベント等

#### (2) チームみえ啓発物の作成

県代表選手の活躍を啓発できるよう、チームみえのロゴ等を使用した啓発物の作成を行う。

- ・ 県代表選手及びスタッフポロシャツ
- ・ 応援用グッズ等

### 3 年間計画

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 5月   | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |
| 8～9月 | チームみえ啓発グッズ等作成      |
| 10月  | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |



三重県競技力向上対策本部事務局規定の変更

<p>(変更前)</p>	<p>第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部<u>スポーツ推進局スポーツ推進課長</u>をもって充てる。</p>
<p>(変更後)</p>	<p>第2章 第4条3 事務局次長は、三重県地域連携部<u>競技力向上推進監</u>をもって充てる。</p>

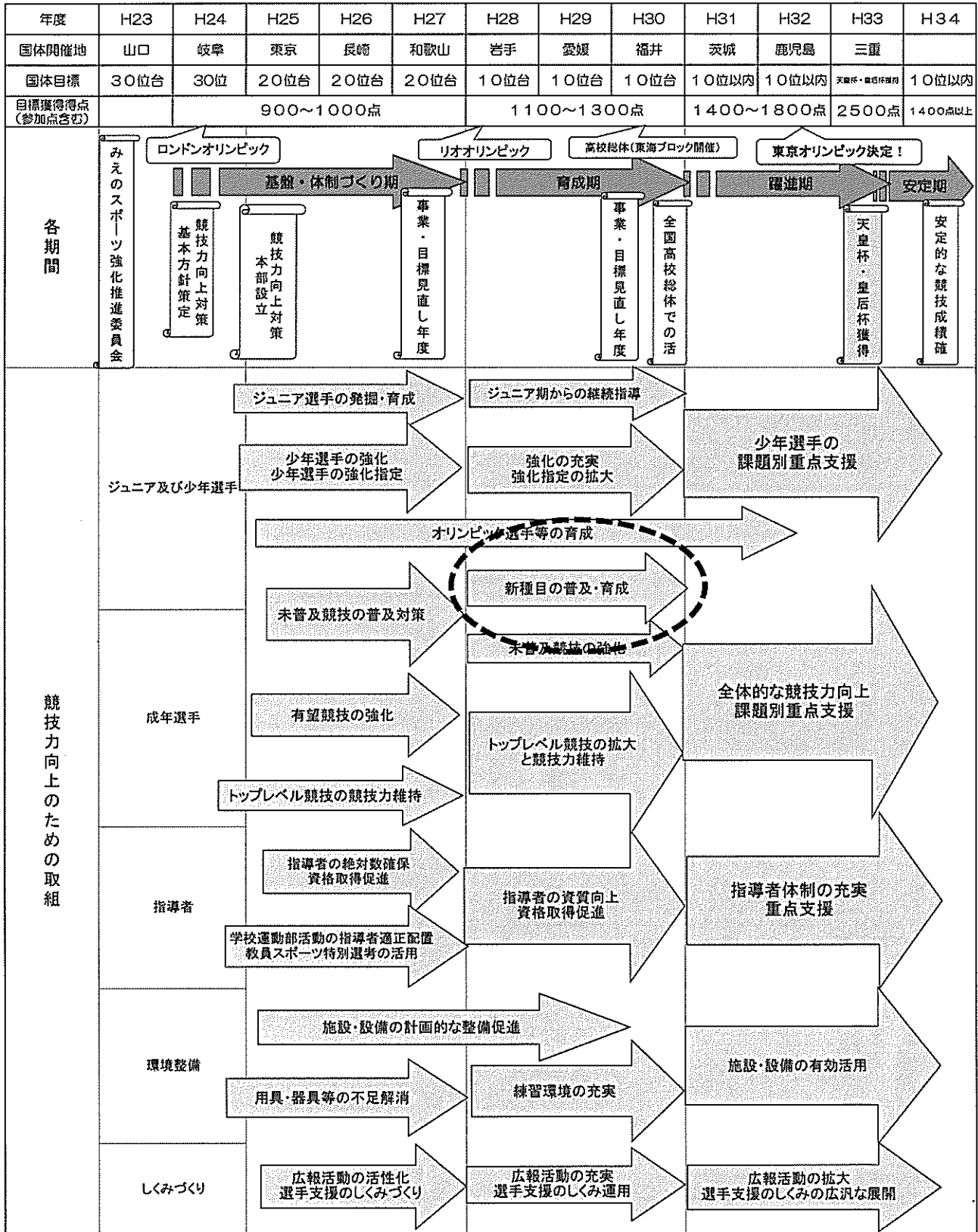




# 審 議 事 項



三重県競技力向上対策基本方針における各期間の目標と取組(案)





## 平成27年度事業報告（案）

## 1. 会議の開催と審議、協議の内容について

開催年月日	会議名	主な審議、協議内容
平成27年 4月23日	第3回本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員及び委員等の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部会議等の推進経過（報告）</li> <li>・第3、4回競技力向上対策委員会の概要（報告）</li> <li>・第69回国民体育大会 総合成績（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項（報告）</li> <li>・専決処分した事項（報告）</li> <li>・平成26年度事業報告、収支決算</li> <li>・平成27年度事業計画、収支予算</li> </ul>
9月4日	第5回競技力向上対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員及び委員等の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 会議等開催経過（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 第4回競技力向上対策委員会の概要（報告）</li> <li>・国民体育大会第36回東海ブロック大会等の結果（報告）</li> <li>・平成27年度競技力向上対策関連事業の進捗状況（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画（協議）</li> <li>・競技力向上の取組の検証（協議）</li> </ul>
11月4日	第3回成年選手強化専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第70回国民体育大会に係る成年選手の結果及び今後の取組（協議）</li> <li>・中・長期的な成年選手の育成・強化（協議）</li> </ul>
11月16日	第3回企業等連絡調整専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリート就職支援事業の計画的な実施（協議）</li> </ul>

11月25日	第3回ジュニア・少年選手強化 専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第70回国民体育大会結果及び本年度競技力向上対策事業を踏まえた今後の取組（協議）</li> </ul>
平成28年 3月24日	第6回競技力向上対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県競技力向上対策本部 会議等開催経過（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 第5回競技力向上対策委員会の概要（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要（報告）</li> <li>・第70回国民体育大会における総合成績（報告）</li> <li>・平成27年度競技力向上対策事業の実施報告及び成果（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画（審議）</li> <li>・平成28年度三重県競技力向上事業（案）について（審議）</li> <li>・育成期における競技力向上の取組（協議）</li> <li>・競技団体の戦略的な支援（協議）</li> </ul>

## 2. 選手の育成・強化について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
平成27年4月 ～ 平成28年3月	大学運動部、企業・クラブ チーム強化指定事業	[ A強化指定チーム ] ・伊賀フットボールクラブくノ一 ・三重バイオレットアイリス ・三重県教員（相撲） ・三重県警察（射撃） ・三重なぎなたチーム ・NTN陸上競技部 ・デンソー女子陸上長距離部 ・相好体操クラブ ・エクセディ卓球部 ・北勢ライディングファーム ・名鉄乗馬クラブ クレイン東海  [ B強化指定チーム ] ・三重県警察（柔道） ・三重県警察（剣道） ・三重クラブ（ホッケー） ・AGF陸上競技部 ・名張乗馬クラブ ・皇學館大学柔道部
平成27年4月 ～ 平成28年3月	チームみえジュニア指定、 指導者・保護者研修プロ グラム事業	将来活躍が期待できるジュニアアスリート 622名を「チームみえジュニア」として 指定し、選手や指導者・保護者への研修会を 実施 ・チームみえジュニア指定証交付式 平成27年6月28日（日） 鈴鹿医療科学大学白子キャンパス
平成27年4月 ～ 平成27年10月	チームみえ国体選手強化 事業	和歌山国体20位台、1000点を目標とし て、入賞の可能性のある競技種別を指定し、 その強化活動を支援
平成27年6月 ～ 平成28年3月	トップジュニア育成事業	世界大会等で活躍するジュニア選手11名 を「チームみえスーパージュニア」として指 定し、強化活動を支援

### 3. 指導者の養成について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
平成27年4月 ～ 平成28年3月	特別コーチ派遣事業	オリンピック選手や優れた指導者を競技団体の強化活動に派遣。 (実施団体：10競技団体 陸上競技、ソフトボール、なぎなた、バドミントン、テニス、ウエイトリフティング、ボウリング、ソフトテニス、レスリング、スキー)
平成27年5月 ～ 平成28年3月	公認スポーツ指導者養成事業	国民体育大会の監督に必要となる公認スポーツ指導者資格取得のための支援 (11競技 17名)

### 4. 広報・顕彰について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
平成27年4月 ～ 平成28年3月	みえのアスリート応援・発信事業	・広報誌「輝くみえのアスリートNEWS」の配布(各種会議、中学校、イベント配布) 「三重から発信!未来のトップアスリート応援募金」チラシの配布(各種企業・団体、各種会議、イベント配布)
平成27年4月 ～ 平成28年3月	顕彰事業	・各競技団体が実施する小学生の大会における「三重県知事賞」授与 (27競技)



第3号議案

平成27年度収支決算（案）

1 収入

（単位：円）

科 目	当初予算額	決算額	当初予算額 との増減	説 明
負 担 金	72,913,000	67,796,656	△5,116,344	三重県負担金
収入合計	72,913,000	67,796,656	△5,116,344	

2 支出

（単位：円）

科 目	当初予算額	決算額	予算額との差額	備 考
事業費	2,227,000	1,369,671	857,329	本部会議、委員会、専門委員会開催 経費
	1,456,000	1,133,316	322,684	チームみえジュニア指定、指導者・保 護者プログラム
	3,000,000	2,080,448	919,552	トップジュニア育成
	42,090,000	40,945,890	1,144,110	チームみえ国体選手強化
	15,434,000	15,351,120	82,880	大学運動部、企業・クラブチーム強化 指定
	2,060,000	1,576,219	483,781	強化運動部、チーム指導者研修
	450,000	252,900	197,100	公認スポーツ指導者養成
	2,550,000	2,383,590	166,410	特別コーチ派遣
	3,633,000	2,694,506	938,494	みえのアスリート応援・発信
事務局費	13,000	8,996	4,004	事務局費
支出合計	72,913,000	67,796,656	5,116,344	

# 監 査 報 告

平成27年度における収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

平成28年 4月13日

監

事

三重県出納局

副局長兼出納総務課長

伊藤 久美



平成28年 4月14日

監

事

三重県体育協会 監事

立 藤 三千 洋



三重県競技力向上対策本部

本部長 鈴木 英敬 様

## 平成28年度事業計画（案）

### 1 会議の開催について

- (1) 本部会議
- (2) 競技力向上対策委員会
- (3) 専門委員会
  - ① ジュニア・少年選手強化専門委員会
  - ② 成年選手強化専門委員会
  - ③ 企業等連絡調整専門委員会

### 2 選手の育成・強化事業について

- (1) ジュニア・少年選手
  - ① チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業
  - ② トップジュニア育成事業
- (2) 少年選手・成年選手共通
  - ① チームみえ国体選手強化事業
  - ② トップ選手育成支援事業
  - ③ 女性アスリートタレント発掘事業
- (3) 成年選手
  - ① 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業
  - ② 成年選手強化指定事業

### 3 指導者の養成事業について

- (1) 強化指定運動部、チーム指導者研修事業
- (2) 公認スポーツ指導者養成事業
- (3) 特別コーチ派遣事業

### 4 広報・顕彰事業について

- (1) みえのアスリート応援・発信事業

## 平成28年度競技力向上対策実施事業

	事業名	対象	備考
①	ジュニア選手発掘事業	ジュニア・少年選手	
②	チームみえジュニア育成事業		
③	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業		
④	ジュニアクラブ強化指定事業		
⑤	中学校運動部強化指定事業		
⑥	中学生H30インターハイ強化事業		
⑦	高等学校運動部強化指定事業		
⑧	高校生H30インターハイ強化事業		
⑨	トップジュニア育成事業		
⑩	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手共通	
⑪	トップ選手育成支援事業		
⑫	女性アスリートサポート事業		
⑬	女性アスリートタレント発掘事業		H28新規
⑭	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	
⑮	成年選手強化指定事業		H28新規
⑯	スポーツ指導員配置事業		
⑰	トップアスリート就職支援事業		
⑱	チームみえ指導者研修事業	指導者	
⑲	強化指定運動部、チーム指導者研修事業		
⑳	公認スポーツ指導者養成事業		
㉑	特別コーチ派遣事業		
㉒	環境整備補助事業	環境整備	
㉓	医・科学スタッフ派遣事業		
㉔	みえのアスリート応援・発信事業		

## 平成28年度収支予算（案）

## 1 収入

(単位：千円)

科 目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較増減額	説 明
負 担 金	130,148	72,913	57,235	三重県負担金
計	130,148	72,913	57,235	

## 2 支出

(単位：千円)

科 目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較増減額	説 明
事 業 費	1,726	2,227	△501	本部会議、委員会、専門委員会 開催経費
	1,401	1,456	△55	チームみえジュニア指定、指導 者・保護者研修プログラム
	3,000	3,000	0	トップジュニア育成
	75,673	42,090	33,583	チームみえ国体選手強化
	19,291	0	19,291	トップ選手育成支援
	6,002	0	6,002	女性アスリートタレント発掘
	13,009	15,434	△2,425	大学運動部、企業・クラブチ ーム強化指定
	1,500	0	1,500	成年選手強化指定
	1,972	2,060	△88	強化指定運動部、チーム指導者 研修
	330	450	△120	公認スポーツ指導者養成
	2,562	2,550	12	特別コーチ派遣
	3,670	3,633	37	みえのアスリート応援・発信
事務局費	12	13	△1	事務費
計	130,148	72,913	57,235	



そ の 他  
(情報共有事項)





## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過 (H27年度分)

### ○正式競技会場地選定

市町	競技／種目	種別	開催予定施設
四日市市	軟式野球	成年男子	霞ヶ浦新野球場（仮称）
鈴鹿市	馬術	全種別	三重県馬術競技場
名張市	ホッケー	全種別	名張市民陸上競技場
松阪市 多気町	カヌー（カヌースラローム、 カヌーワイルドウォーター）	全種別	橿田川特設カヌー競技場

### ○公開競技会場地選定

市町	競技	開催予定施設
松阪市	ゲートボール	松阪市総合運動公園多目的グラウンド

### ○大会愛称

# 三重とこわか国体

「とこわか（常若）」とは、「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現する言葉です。第76回国民体育大会は、「活力に満ちた元気な三重」につながる大会を目指しており、三重の人、地域、そして来訪者の全てが活力に満ち元気になることを願い、そのようなきっかけにつながる大会となるようにとの思いを込めて、活力に満ちた元気な姿を「いつまでも若いさま」という意味の「とこわか」に託しています。

### ○大会スローガン

## ときめいて人 かがやいて未来

大会の競技に参加「する」人の躍動感あふれる姿や、競技を「みる」人や「支える」人の、いきいきとした姿を、「ときめいて」の言葉に託し、全ての人が、そのようにときめいて、持てる力を結集することで、大会が成功に導かれることを目指していくものとします。

また、大会に関わる全ての人が、大会を通じて、夢と感動、喜びと充実感を味わえるように、との思いも「ときめいて」に込めています。

さらに、大会後も将来にわたり、このようなときめきを大切に、人や地域がいつまでも元気であり続けていくような未来を願い、その思いを「かがやいて」に託しました。

## ○大会マスコットキャラクター



### ◆特徴 1

三重ブランドである伊勢エビをモチーフにした活動的で元気な男の子

### ◆特徴 2

国体を盛り上げるため、スポーツ、ダンス、歌をがんばります。

※現在、マスコットキャラクターの愛称を募集中  
募集締切：4月30日（土）

## ○各種計画等の策定

（開催基本構想）

大会の開催及び開催準備に向けた基本目標とその実現に向けた主な取組を明らかにしたものの。

（県民運動基本計画）

それぞれの主体の役割や運動の進め方及び開催後の目標などを示したものの。

（輸送・交通基本方針）

大会関係者及び一般観覧者の輸送について方針を定めたもの。

（警備・消防防災基本方針）

大会期間中の警備・消防防災対策について方針を定めたもの。

## ○その他

（デモンストレーションスポーツの募集）

県内の主要なスポーツ振興団体に対し、デモンストレーションスポーツの開催を傘下団体に勧奨いただけるよう、協力を求めるとともに、幅広く開催を呼びかけるため公募を実施。

「募集期間」

第一次募集：平成28年 3月～11月

第二次募集：平成28年12月～平成29年5月（予定）

※必要により第三次以降の募集も実施

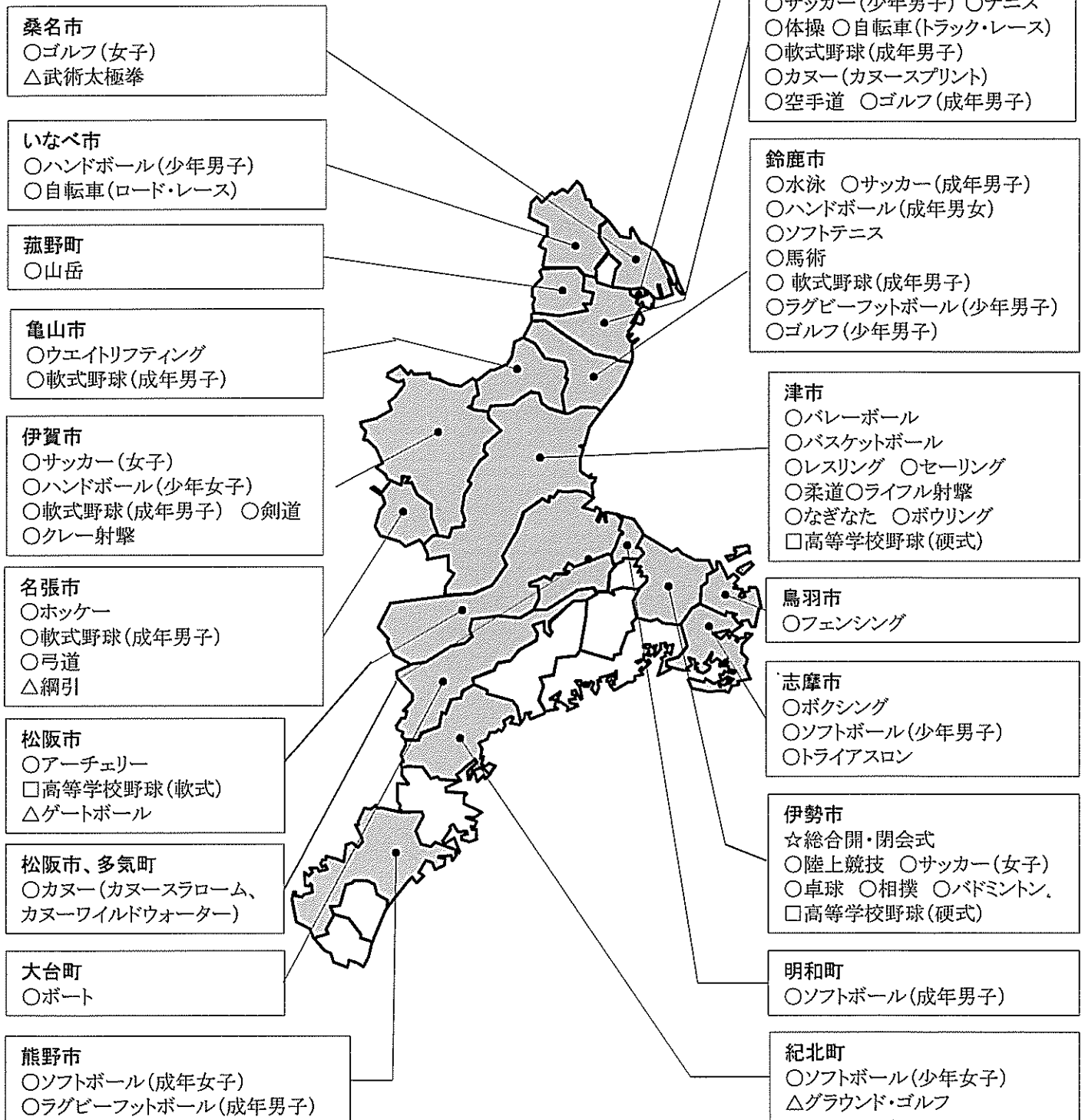
# 第76回国民体育大会三重県準備委員会 会場地選定状況

(平成28年3月31日現在)

## 【会場地選定状況】

- ☆:総合開・閉会式..... 1市
- :正式競技.....18市町 37競技
- :特別競技..... 3市 1競技
- △:公開競技..... 5市町 5競技

【注】競技名の後に(種別)の記載がない競技は、全種別を実施



第76回国民体育大会三重県準備委員会 会場地選定状況（平成28年3月31日現在）

会場地市町・競技【正式競技：一覧リスト（市町順）】

市町	競技	種別	会場	
津市	バレーボール	全種別	・津市産業・スポーツセンター（サオリーナ） ・津市安濃中央総合公園内体育館 ・津市芸濃総合文化センター内アリーナ	
	バスケットボール	全種別	・津市産業・スポーツセンター（サオリーナ） ・津市安濃中央総合公園内体育館 ・津市芸濃総合文化センター内アリーナ	
	レスリング	全種別	・津市産業・スポーツセンター（メッセウイング・みえ）	
	柔道	全種別	・津市産業・スポーツセンター（メッセウイング・みえ）	
	なぎなた	全種別	・津市久居体育館	
	ボウリング	全種別	・津グランドボウル	
	セーリング	全種別	・津ヨットハーバー	
	ライフル 射撃	50mライフル 10mエア・ライフル 10mエア・ピストル	全種別	・三重県営ライフル射撃場
		ヒーム・ライフル ヒーム・ピストル	全種別	・一志体育館
		センター・ファイ・ピストル	成年男子	・三重県警察学校射撃場
高等学校野球	硬式	・津球場公園内野球場		
四日市市	サッカー	少年男子	・中央緑地陸上競技場 ほか	
	テニス	全種別	・四日市ドーム ほか	
	体操	全種別	・中央緑地体育館	
	軟式野球	成年男子	・霞ヶ浦第1野球場	
	空手道	全種別	・中央緑地体育館	
	ゴルフ	成年男子	・四日市カンツリー倶楽部	
	自転車（トラック・レース）	全種別	・四日市競輪場	
カヌー（カヌースプリント）	全種別	・伊坂ダム特設カヌー競技場		
伊勢市	陸上競技	全種別	・三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	
	サッカー	女子	・伊勢フットボールヴィレッジ	
	卓球	全種別	・三重県営サンアリーナ	
	相撲	全種別	・三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館	
	バドミントン	全種別	・三重県営サンアリーナ	
	高等学校野球	硬式	・倉田山公園野球場	
松阪市	アーチェリー	全種別	・松阪市総合運動公園芝生広場	
	高等学校野球	軟式	・三重県営松阪野球場	
	カヌー（カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター）	全種別	・櫛田川特設カヌー競技場	

桑名市	ゴルフ	女子	・桑名カントリー倶楽部	
鈴鹿市	水泳	全種別	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場	
	サッカー	成年男子	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場	
	ハンドボール	全種別	・AGF 鈴鹿体育館 ・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	
	ソフトテニス	全種別	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 庭球場	
	ゴルフ	少年男子	・鈴峰ゴルフ倶楽部	
	ラグビーフットボール	少年男子	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場	
	軟式野球	成年男子	・石垣池公園野球場	
名張市	軟式野球	成年男子	・名張市民野球場（メイハンスタジアム）	
	弓道	近的	全種別	・HOS名張アリーナ
		遠的	全種別	・名張中央公園特設遠的弓道場
亀山市	ウエイトリフティング	全種別	・亀山市西野公園体育館	
	軟式野球	成年男子	・亀山市西野公園野球場	
鳥羽市	フェンシング	全種別	・鳥羽市民体育館	
熊野市	ソフトボール	成年女子	・山崎運動公園 くまのスタジアム ・山崎運動公園 健康運動広場	
	ラグビーフットボール	成年男子	・山崎運動公園 多目的グラウンド	
いなべ市	ハンドボール	全種別	・員弁運動公園体育館 ・いなべ市立北勢中学校体育館	
	自転車（ロード・レース）	全種別	・いなべ市特設ロードレースコース	
志摩市	ボクシング	全種別	・阿児アリーナ	
	ソフトボール	少年男子	・長沢野球場 ・長沢多目的広場	
	トライアスロン	全種別	・志摩市浜島海浜公園特設会場	
伊賀市	サッカー	女子	・上野運動公園競技場	
	ハンドボール	全種別	・三重県立ゆめドームうえの	
	軟式野球	成年男子	・上野運動公園野球場	
	剣道	全種別	・三重県立ゆめドームうえの	
	クレール射撃	全種別	・三重県上野射撃場	
菰野町	山岳	リード	全種別	・菰野町B&G海洋センター特設会場
		ボルダリング	全種別	・菰野町B&G海洋センター体育館特設会場
多気町	カヌー（カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター）	全種別	・櫛田川特設カヌー競技場	
明和町	ソフトボール	成年男子	・明和町総合グラウンド	
大台町	ボート	全種別	・奥伊勢湖漕艇場	
紀北町	ソフトボール	少年女子	・赤羽運動公園野球場 ・赤羽運動公園多目的広場	

会場地市町・競技【正式競技：一覧リスト（競技順）】

競技		種別	市町	会場
陸上競技		全種別	伊勢市	・三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場
水泳		全種別	鈴鹿市	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
サッカー	成年男子	鈴鹿市	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場	
	少年男子	四日市市	・中央緑地陸上競技場 ほか	
	女子	伊勢市	・伊勢フットボールヴィレッジ	
伊賀市		・上野運動公園競技場		
テニス		全種別	四日市市	・四日市ドーム ほか
ボート		全種別	大台町	・奥伊勢湖漕艇場
ボクシング		全種別	志摩市	・阿児アリーナ
バレーボール		全種別	津市	・津市産業・スポーツセンター（サオリーナ） ・津市安濃中央総合公園内体育館 ・津市芸濃総合文化センター内アリーナ
体操		全種別	四日市市	・中央緑地体育館
バスケットボール		全種別	津市	・津市産業・スポーツセンター（サオリーナ） ・津市安濃中央総合公園内体育館 ・津市芸濃総合文化センター内アリーナ
レスリング		全種別	津市	・津市産業・スポーツセンター（メッセウイング・みえ）
セーリング		全種別	津市	・津ヨットハーバー
ウエイトリフティング		全種別	亀山市	・亀山市西野公園体育館
ハンドボール		全種別	鈴鹿市	・AGF 鈴鹿体育館 ・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 体育館
			いなべ市	・員弁運動公園体育館 ・いなべ市立北勢中学校体育館
			伊賀市	・三重県立ゆめドームうえの
自転車	トラック・レース	全種別	四日市市	・四日市競輪場
	ロード・レース	全種別	いなべ市	・いなべ市特設ロードレースコース
ソフトテニス		全種別	鈴鹿市	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 庭球場
卓球		全種別	伊勢市	・三重県営サンアリーナ
軟式野球		成年男子	四日市市	・霞ヶ浦第1野球場
			鈴鹿市	・石垣池公園野球場
			名張市	・名張市民野球場（メイハンスタジアム）
			亀山市	・亀山市西野公園野球場
			伊賀市	・上野運動公園野球場
相撲		全種別	伊勢市	・三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館
フェンシング		全種別	鳥羽市	・鳥羽市民体育館
柔道		全種別	津市	・津市産業・スポーツセンター（メッセウイング・みえ）

ソフトボール	成年男子	明和町	・明和町総合グラウンド	
	成年女子	熊野市	・山崎運動公園 くまのスタジアム ・山崎運動公園 健康運動広場	
	少年男子	志摩市	・長沢野球場 ・長沢多目的広場	
	少年女子	紀北町	・赤羽運動公園野球場 ・赤羽運動公園多目的広場	
バドミントン		全種別	伊勢市	・三重県営サンアリーナ
弓道	近的	全種別	名張市	・HOS名張アリーナ
	遠的	全種別		・名張市中央公園特設遠的弓道場
ライフル 射撃	50mライフル	全種別	津市	・三重県営ライフル射撃場
	10mエア・ライフル 10mエア・ピストル			
	ビーム・ライフル ビーム・ピストル	全種別		・一志体育館
	センターファイア・ピストル	全種別		・三重県警察学校射撃場
剣道		全種別	伊賀市	・三重県立ゆめドームうへの
ラグビーフットボール		成年男子	熊野市	・山崎運動公園 多目的グラウンド
		少年男子	鈴鹿市	・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場
山岳	リード	全種別	菰野町	・菰野町B&G海洋センター特設会場
	ボルダリング	全種別		・菰野町B&G海洋センター体育館特設会場
カヌー	スプリント	全種別	四日市市	・伊坂ダム特設カヌー競技場
	スラローム、 ワイルドウォーター	全種別	松阪市 多気町	・櫛田川特設カヌー競技場
アーチェリー		全種別	松阪市	・松阪市総合運動公園芝生広場
空手道		全種別	四日市市	・中央緑地体育館
クレール射撃		全種別	伊賀市	・三重県上野射撃場
なぎなた		全種別	津市	・津市久居体育館
ボウリング		全種別	津市	・津グランドボウル
ゴルフ	成年男子	四日市市	・四日市カンツリー倶楽部	
	少年男子	鈴鹿市	・鈴峰ゴルフ倶楽部	
	女子	桑名市	・桑名カントリー倶楽部	
トライアスロン		全種別	志摩市	・志摩市浜島海浜公園特設会場
高等学校野球	硬式	津市	・津球場公園内野球場	
		伊勢市	・倉田山公園野球場	
	軟式	松阪市	・三重県営松阪野球場	





平成30年度全国高等学校総合体育大会準備状況  
(三重県実行委員会 平成28年3月28日)

【決定事項】

- H26. 8.28 ・ 東海ブロック開催及び各県開催種目
- H27. 5.15 ・ 開催基本方針

- H27.12. 2 ・ 大会愛称

**2018 彩る感動 東海総体**

三重県立四日市商業高等学校 2年 水越 粋花

- ・ スローガン

**翔べ誰よりも高く東海の空へ**

三重県津市立橋北中学校 1年 曾我 萌々子

(揮毫横：三重県立川越高等学校 2年 平野 智美)

(揮毫縦：三重県立いなべ総合学園高等学校 2年 藤田 和花)

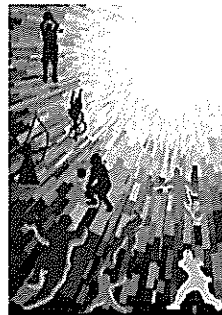
- ・ シンボルマーク



岐阜県立岐阜総合学園高等学校

2年 近藤 寛子

- ・ 総合ポスター図案



静岡県立富士宮東高等学校

2年 福原 花菜

- H28. 1.25 ・ 三重県実行委員会の設立
- ・ 三重県開催基本構想
- ・ 総合開会式会場（平成30年8月1日三重県営サンアリーナ）
- ・ 三重県開催競技種目別大会競技会場及び日程（案）
- ・ 三重県大会に係る県と会場地市町との業務分担及び経費負担区分
- ・ 大会総合ポスター



三重県立飯野高等学校応用デザイン科

3年 道上 あすか

平成30年度全国高等学校総合体育大会 三重県開催競技種目別大会 競技会場・日程(案)

競技種目	会場地 市町	競技会場	7月							8月																			
			26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	
総合開会式	伊勢市	三重県営サンアリーナ							◎																				
陸上競技	伊勢市	三重交通Gスポーツの社 伊勢 陸上競技場								■	●	●	●	◆															
水泳(水球)	鈴鹿市	三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 水泳場																							■	●	●	◆	
バレーボール (男子)	伊勢市	三重県営サンアリーナ	○	●	●																								
		三重県営サンアリーナ サブ体育館		●	●	●																							
		三重交通Gスポーツの社 伊勢 体育館		●	●	●	◆																						
バレーボール (女子)	津市	三重県総合文化センター 中ホール							○																				
		サオリーナ								●	●	●	◆																
		サオリーナ (サブアリーナ)									●	●	●																
		津市葦原総合文化センター アリーナ									●	●																	
ソフトテニス	鈴鹿市	三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 庭球場					○	●	●	◆	○	●	●	◆															
ハンドボール	津市	三重県総合文化センター 中ホール	○																										
		サオリーナ		●	●	●	●	◆																					
		サオリーナ (サブアリーナ)		●	●	●	●																						
	安濃中央総合公園内 体育館		●	●																									
	三重県立津高等学校		●	●																									
	鈴鹿市	三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 体育館		●	●																								
サッカー (男子)	鈴鹿市	調整中											○																
		三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 メイングラウンド																											
		三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 第1グラウンド														●	●	●		●									
		三重交通Gスポーツの社 鈴鹿 第4グラウンド														●	●	●		●	●								
	四日市市	四日市中央緑地公園 陸上競技場													●	●	●		●										
		四日市中央緑地公園 (人工芝1)													●														
		四日市中央緑地公園 (人工芝2)												●															
伊勢市	伊勢フットボール ビレッジ(Aピッチ)													●	●	●													
	伊勢フットボール ビレッジ(Bピッチ)													●	●	●													
	伊勢フットボール ビレッジ(Dピッチ)													●															
伊賀市	上野運動公園競技場												●	●	●														
ソフトボール	熊野市	山崎運動公園								○	●	●	●	◆		○	●	●	●	◆									
		熊野市総合グラウンド										●	●	●				●	●	●									
柔道	津市	サオリーナ												■	●	●	●	◆											
剣道	伊勢市	三重県営サンアリーナ														○	●	●	◆										
レスリング	津市	メッセウイング三重											■	●	●	◆													
テニス	四日市市	四日市文化会館							○																				
		四日市ドーム・ 新設コート								●	●	●	●	●	◆														
		三滝コート								●		●	●																
登山	菟野町	菟野町体育センター・ 町民センター								○					□														
		菟野町B&G海洋センター									●	●	●	●															
ウエイトリフティング	亀山市	西野公園体育館							○	●	●	●	◆																
なぎなた	津市	久居総合体育館											■	●	◆														

◎:総合開会式 ○:競技別開会式 ■:競技別開会式誤競技 ●:競技 ◆:競技後開会式 □:閉会式

# 講演



## ～ 講師プロフィール ～

- 1 お名前 宮本 ともみ 氏
- 2 所属先、役職 サッカー元日本女子代表、サッカー解説者  
高田短期大学女子サッカー一部監督  
みえ高田 FC 監督

## 3 プロフィール

神奈川県出身。1997年にプリマハムFCくノ一（現伊賀FCくノ一）に入団し、その年の日本女子代表に初選出される。

1999年から女子ワールドカップに3大会連続出場したのをはじめ、2004年にはアテネ五輪に出場する。

2012年シーズンで引退を決意し、現在はサッカー解説者として新たな一歩を踏み出し、先日のリオデジャネイロオリンピックアジア最終予選では解説者として出演している。

2016年4月より高田学苑による女子サッカーのクラブチーム「みえ高田FC」の監督として本格始動する。

## 【講演メモ】







# 三重とこわか国体

第76回国民体育大会

ときめいて人 かがやいて未来 2021